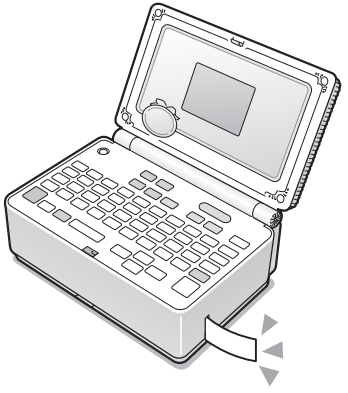
TEPRA PRO

TAPE



SR-GL1
取扱説明書

KING JIM

●はじめに

このたびは、ラベルライター「テプラ」PRO SR-GL1をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本書は「テプラ」PRO SR-GL1の使いかたを、「本体の準備」「入力」「編集」「印刷」「保存」「その他・付録」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。
取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。
「テプラ」PRO SR-GL1を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。
なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この製品を、テレビやラジオ等の電波受信機に近づけて使用すると、雑音などが発生することがありますのでご了承ください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

注意!

- 本機で保存する文章などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テプラ」で得られるラベルについて
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。
  なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、「KING JIM」、「テプラ」、「テプラ」PRO 、Pテープマークは株式会社キングジムの商標または登録商標です。
その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

● 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

⚠危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
⚠警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

● 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⃠ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠危険

電池の取り扱いについて

電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

⚠警告

電池の取り扱いについて

電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

⚠警告

電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。

新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。

長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。

電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

別売のACアダプタについて

別売の専用ACアダプタ（AC0615J）以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。

ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。

ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。

その他

本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切り、別売のACアダプタを使用している場合はACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。

本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶったり、飲み込んだりしないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。

本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切り、別売のACアダプタを使用している場合はACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。
また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

⚠注意

電池の取り扱いについて

電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

オートカッターについて

印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。

その他

本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。

電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

⚠注意

「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

■ テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。
故障の原因となります。

■ テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。

■ テープカートリッジは直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。

MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。
印刷済みのインクリボンは必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テプラ」テープカートリッジはお近くの「回収BOX」設置店までお持ちください。なお、「エコマーク商品」（ラベルにエコマークが表示されているテープカートリッジ）については、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「回収BOX」設置店までお持ちください。

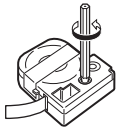
●テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

■ セット前に、必ずインクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破れたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



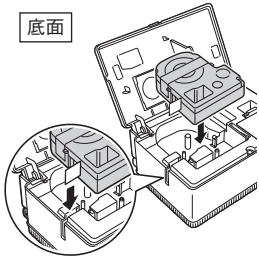
■ 正しく本機にセットする

本体を裏返して下カバーを開けて、テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ セットした直後は必ず「テープ送り」をする（テープ送り）

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞P.22「5. テープ送りをする」

●その他のご注意

■ **本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。**

■ 直射日光のあたる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。

■ 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。

■ ACアダプタ差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。

■ 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。

■ テープカートリッジは、必ずPテープマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。点字テープカートリッジ(DL規格)は、お使いになれません。また、「テプラ」TR、mini、GEAR、JET、Grand、Liteシリーズのテープカートリッジはお使いになれません。

■ 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに Print を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。

■ テープ送りは、必ず テープ送り でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。

■ テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。

■ キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。

■ テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。

■ テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。

■ オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。

■ 長期間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。

■ 電池を取りはずして保管したり、消耗した電池を入れて保管すると、保存されていたデータがすべて消えますのでご了承ください。

■ 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。

■ 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。

■ ACアダプタは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。

■ 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。

■ 取扱説明書に記載された内容、仕様、デザインなどは予告なく変更されることがあります。

本書の使いかた

●本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備
本機を使用する前の準備作業について説明しています。

入力
文字入力の基本操作と段落の追加などテキスト画面での操作について説明しています。

編集
ラベルの見栄えをよくする機能の情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。

印刷
基本的な印刷から特殊印刷まで説明しています。

保存
ファイル登録機能について説明しています。

その他・付録
技術的な情報を説明しています。必要に応じてお読みください。

●本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
❶、❷	操作の手順を示しています。
M、O	文字ボタンを示しています。 ボタン上側の文字は省略して表記している場合があります。
サイズ、編集	機能ボタンを示しています。
◄ ▲ ▼ ►	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照☞	関連する事項の参照ページを案内しています。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
注意!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

目次

はじめに

安全上のご注意…必ずお守りください！…1
テープカートリッジ取り扱いについてのご注意 4
テープカートリッジをセットするときのご注意 5
その他のご注意 6

本書の使いかた 7
本書の構成 7
本書の見かた 7

準備

同梱品の確認 10

別売品のご案内 11

各部の名前とはたらき 13
本機各部の名前（表） 13
本機各部の名前（底面/内部） 13

操作パネルの名前とはたらき 14

ディスプレイの見かたとはたらき 16

使う前の準備 18
1. 電池（別売）を入れる 18
2. ACアダプタ（別売）を接続する場合 .. 20
3. テープカートリッジをセットする 20
4. 電源を入れる 22
5. テープ送りをする 22

使い終わったら 23
電源を切る 23

入力

文字を入力する 24
文字入力をはじめる前に 24
ひらがな・カタカナを入力する 25
漢字に変換する 25
英数字を入力する 26
文字ボタンの記号を入力する 27
スペースを入力する 28

文章を作る 28
カーソルボタンの使いかた 28
文章を入力する 29
文字を削除する 29
文字を挿入する 29
すべての文章を消去する 29

行を増やす（改行） 30
新しい行を作る 31
行の途中で改行する/改行を取り消す 31

段落を増やす（改段落） 32
新しい段落を作る 32
段落を分割する 33

記号・絵文字を使う 34
記号・絵文字メニュー一覧 34
記号・絵文字を入力する 35
たて書きで2桁の数字を入力する 36

読みのわからない漢字を入力する（コード入力） 37

編集

フォントを変える 38

文字サイズを指定する 39

フレームをつける 41

イニシャルマークを作成する 42

[編集]の機能を使いこなす 44
編集メニュー一覧 45
[編集]機能の説明 46

定長印刷を指定する 49

デザインされたラベルを呼び出す（フォーム） 50
ラベルの作りかた 50
フォーム見本 51

印刷

印刷を始める前に 54
印刷イメージを確認する（プレビュー） ... 54
自動カットの設定を変更する 54
テープ送り、送りカットをする 55
指定した長さでテープ送りをする 56

印刷する 57

特殊な印刷 59
特殊印刷メニュー一覧 59
鏡文字印刷をする 60
連続印刷をする 60
りぼん連続印刷をする 61
印刷濃度を調整する 63

保存

文章を呼び出す・登録する（ファイル）.....64
ファイル・フォームメニュー.....64
ファイルを登録する.....64
ファイルを呼び出す.....66
ファイルを消去する.....66

その他

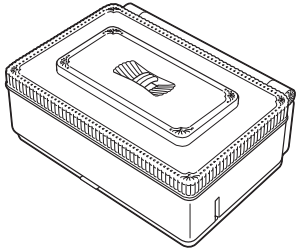
本機を初期化する.....67
初期化する.....68
デモ印刷をする.....69

付録

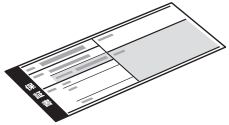
テープカートリッジを使いわける.....71
こんな表示が出たときは.....73
ディスプレイが消えたときは.....73
エラーメッセージが表示されたときは.....73
故障かな？と思ったら.....76
正常な動作をしない.....76
ON/OFF を押してもディスプレイに何も表示されない.....76
ディスプレイが消える.....76
Print を押しても何も印刷されない.....77
文字がきちんと印刷されない.....77
ラベルを印刷後、自動カットされない.....78
文章の途中までしか印刷されない.....78
ファイルの内容が消えてしまった.....78
ラベルを貼り付けることができない.....79
お手入れについて.....80
漢字変換表.....82
JIS第2水準.....82
その他.....85
記号一覧表.....86
フレーム一覧表.....89
イニシャルマークデザイン一覧表.....89
ローマ字変換表.....90
おもな仕様.....91
索引.....93

同梱品の確認

同梱品がすべて揃っているか、確認してください。

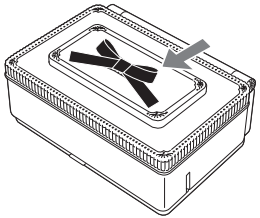


「テプラ」PRO SR-GL1本体



保証書
（箱の側面に添付）

SR-GL1 取扱説明書（本書）



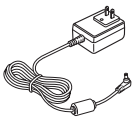
装飾用リボン
（上カバーの飾りなどに
お使いください）

MEMO

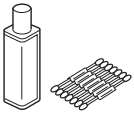
- 本機には、電池は同梱しておりません。単4形アルカリ乾電池（6本）をお買い求めください。入力した文章やファイルなどのデータを保存するために必要です。
- 本機には、「テプラ」PROテープカートリッジは同梱しておりません。「テプラ」PROテープカートリッジには用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。同梱のテープカタログや当社ホームページ（アドレス http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

別売品のご案内

本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。

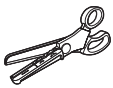


ACアダプタ（AC0615J）
本機専用の AC アダプタです。

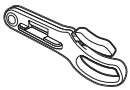


ヘッド・クリーニングキット（RC15）
印刷ヘッド専用クリーニング液です。

ヘッド・クリーニングテープ（SR18C）
「テプラ」本体のヘッドクリーニング用のテープです。



トリマー（RT36W）
ラベルのカドを丸くカットして、はがれに強い、きれいなラベルに仕上げるハサミ型トリマーです。ラベルの前後余白調整にも便利です。
対応ラベル：4 ～ 36mm 幅
※ 本機の対応ラベルは 4 ～ 18mm 幅です。



ハーフカッター（RH24）
ラベルの印刷面にスリットを入れて、ラベルの裏紙をはがしやすくします。
対応ラベル：4 ～ 24mm 幅
※本機の対応ラベルは 4 ～ 18mm 幅です。

りぼんキット（SRR10）
ミニサイズで使いやすい手芸用はさみと、印刷前に使いたい長さを確認できる綿製のメジャー、おまけシールのついた「テプラ」PRO テープカートリッジ りぼん専用のオプション品です。

ラベルラミネーター（RL18）
ラベル表面に透明のラミネートを施し、表面を保護します。薬品、油、こすれなどからラベルを守ります。
対応ラベル：9 ～ 18mm 幅
※ 4mm 幅、6mm 幅のテープには対応していません。

システムバッグ（SR8B）
ウレタン・ボンディング・ナイロンを使用したクッション性に優れたバッグです。「テプラ」PRO 本体とテープカートリッジ、取扱説明書などが収納可能です。

システムケース（SR9H）
A4 ボックスサイズに「テプラ」PRO 本体と AC アダプタ、テープカートリッジ（12mm 幅 10 個分）などが収納可能です。印刷済みラベルの整理用ラベルファイル付きです。

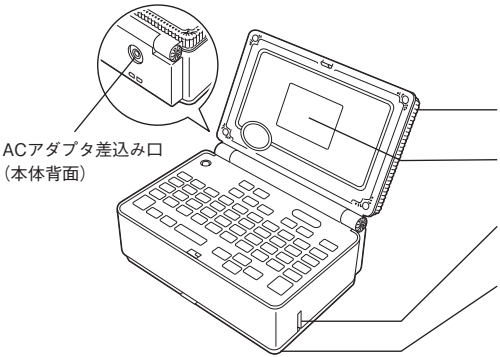
テープカートリッジケース（SR4TH）
A4 ボックスサイズにテープカートリッジ（12mm 幅 40 個分）が収納可能です。4 つのボックスでテープ色・幅・種類ごとに整理できます。

MEMO

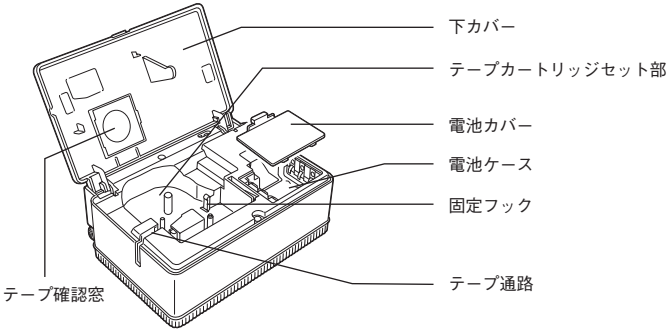
詳細については、当社ホームページ（アドレス http://www.kingjim.co.jp/）をご覧いただくか、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。
参照 巻末「アフターサービスについて」

各部の名前とはたらき

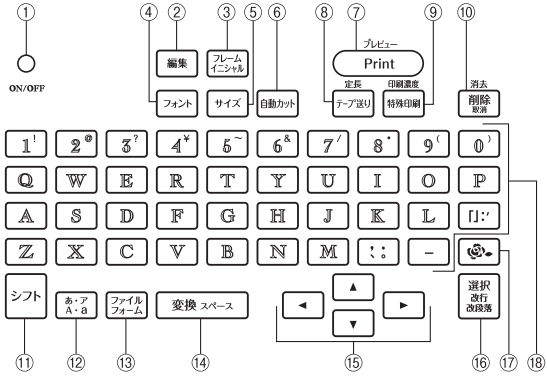
●本機各部の名前（表）



●本機各部の名前（底面/内部）



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。シフト+[ ]となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① ON/OFF **（電源）**

電源を ON/OFFします。

参照☞P.22、23

② 編集 **（編集）**

ラベルの割付け、縦・横、文字間、余白、飾り字を指定します。

参照☞P.44

③ フレーム イニシャル **（フレーム・イニシャル）**

フレームの指定やイニシャルマークを作成します。

参照☞P.41、42

④ フォント **（フォント）**

文字の書体を切り換えます。

参照☞P.38

⑤ サイズ **（文字サイズ）**

文字の大きさを切り換えます。

参照☞P.39

⑥ 自動カット **（自動カット）**

自動カットのする、しないを設定します。

参照☞P.54

⑦ Print **（印刷）**

入力内容をテープに印刷し、テープを自動的にカットします。

参照☞P.57

シフト+Print **（＝プレビュー）**

印刷イメージを確認します。

参照☞P.54

⑧ テープ送り **（テープ送り）**

テープを空送りしたり、カットします。

参照☞P.22

シフト+テープ送り **（＝定長印刷）**

ラベルの長さを指定します。

参照☞P.49

⑨ 特殊印刷 **（特殊印刷）**

鏡文字印刷や連続印刷、りぼん連続印刷をします。

参照☞P.59

シフト+特殊印刷 **（＝印刷濃度）**

印刷濃度を設定します。

参照☞P.63

⑩ 削除 取消 **（削除、取消）**

カーソル位置（カーソルの左側）の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。

参照☞P.29

シフト+削除 取消 **（＝消去）**

文章を消去します。

参照☞P.29

⑪ シフト **（シフト）**

機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能になり、文字ボタンと一緒に押すと、大文字や英記号が入力できます。

⑫ あ・ア A・a **（入力切換）**

入力モードを、「ひらがな→カタカナ→ABC（大文字）→ABC（小文字）」の順で切り換えます。
ひらがなで入力して確定していない文字も切り換えます。

参照☞P.25、26

シフト+あ・ア A・a **（＝コード入力）**

読みのわからない漢字を入力します。

参照☞P.37

⑬ ファイル フォーム **（ファイル・フォーム）**

文章の保存、呼び出しとデザインフォームの呼び出しをします。

参照☞P.50、64

⑭ 変換 スペース **（漢字変換、スペース入力）**

ネガ表示のひらがなを漢字に変換します。ネガ文字がないときは、スペースを入力します。
漢字変換中は、次の変換候補を表示します。

参照☞P.25、28

⑮ ◄ ▲ ▼ ► **（カーソルボタン）**

カーソルや選択候補を上下左右に移動します。

参照☞P.28

漢字変換中は、◄で変換対象の「読み」を短縮します。

参照☞P.26

シフト+◄ ▲ ▼ ►
（＝カーソルジャンプ）

カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。

参照☞P.28

⑯ 選択 改行 **（選択、改行）**

機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。ネガ文字や仮確定文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。

参照☞P.30

シフト+選択 改段落 **（＝改段落）**

新しい段落を作ります。

参照☞P.32

⑰ 記号 **（記号・絵文字）**

記号や絵文字、2桁数字を入力します。

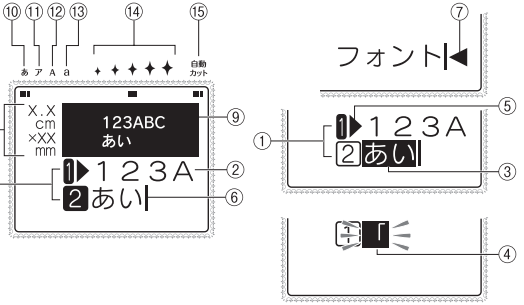
参照☞P.34、35、36、86

⑱ **文字ボタン**
（T、E、P、R、A など）

文字を入力します。

参照☞P.25

ディスプレイの見かたとはたらき



① **行頭マーク（1 2…☒、1 2…☐）**

行頭に表示され、何行目かを示します。1、2は印刷できる行を表し、1、2はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。

☒、☐は印刷できない行を表しています。☒が表示されているときは、印刷できません。

参照☞P.25、30

② **確定文字（例：123A）**

入力が確定した文字で、印刷されます。

あ・ア A・a で変換された直後は、仮確定の状態になり、続けて あ・ア A・a で変換できます（仮確定文字も印刷されます）。仮確定文字は、選択 ctrl を押すか、続く文字を入力すると確定します。

仮確定文字は 変換 スペース で漢字変換できません。

③ **ネガ文字（例：あい）**

入力中の文字で印刷されません。

変換 スペース で漢字に、あ・ア A・a でひらがな、カタカナ、ABC（大文字）、ABC（小文字）に変換できます。

④ **点滅文字**

[]:'、:;ボタンによる文字めくり入力途中の未確定の文字で、同じボタンを連続して押すと文字候補が順に表示されます。

点滅表示の文字は、印刷されません。

⑤ **文字モード指定マーク（▶）**

行、段落単位で、飾り字などの機能を変更すると表示されます。

参照☞P.44

⑥ **カーソル（|）**

操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除できます。

参照☞P.28

⑦ **フルメモリーマーク（◀）**

入力可能文字数（約90文字）をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。

⑧ **印刷情報**

セットされているテープ幅と印刷したときの目安の長さを表示します。

⑨ **印刷イメージ**

印刷したときのイメージを表示します。

⑩ **ひらがな入力インジケーター**

ひらがな入力モードのときに点灯します。

⑪ **カタカナ入力インジケーター**

カタカナ入力モードのときに点灯します。

⑫ **アルファベット大文字入力インジケーター**

ABC（大文字）モードのときに点灯します。

⑬ **アルファベット小文字入力インジケーター**

ABC（小文字）モードのときに点灯します。

⑭ **文字サイズインジケーター**

カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。
✦の大きさが文字サイズを表し、左の小さい側からP、S、M、L、G字を示しています。
参照☞P.39

⑮ **自動カットインジケーター**

自動カットが「する」に指定されているときに点灯します。

使う前の準備

1. 電池（別売）を入れる

本機に単4形アルカリ乾電池6本（別売）をセットします。電池は、登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておくために必要です。

❶ 下カバーを開ける

本体を裏返して、下カバーのつまみ部分を持ち上げて下カバーを開けます。

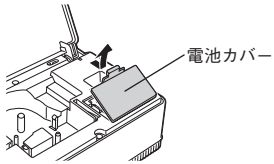
注意！

- 必ず、電源を切ってからおこなってください。
- 上カバーは閉じた状態でおこなってください。

準備

❷ 電池カバーをはずす

電池カバーのつまみ部分を手前に引いて、電池カバーをはずします。



❸ 電池を入れる

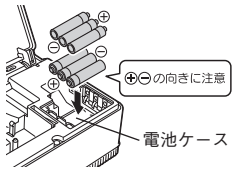
単4形アルカリ乾電池6本を入れます。

❹ 電池カバーをはめる

電池カバーの手前の爪を本機のミゾに合わせ、しっかりカバーをはめます。

引き続き、テープカートリッジをセットする場合は、次の「3. テープカートリッジをセットする」の説明に進んでください。

電池のセットのみの場合は、手順⑤に進んでください。



❺ 下カバーを閉じる

下カバーは指で軽く押してしっかり閉じてください。

注意！

- テープカートリッジをしっかり押し込まずに下カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 下カバーはしっかり閉じてください。

注意!

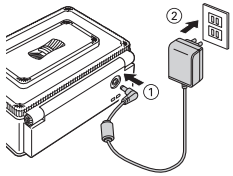
- 本機には単4形アルカリ乾電池（6本）をお使いください。その他の電池を使用したときは、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。
- 電池交換は必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われることがあります。また、本機から電池をはずし、約2分以上放置すると、データはすべて失われます。
- 登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときは、電池を正しくセットしたまま保管してください。

MEMO

- 電池が消耗すると、ディスプレイに「電池を交換！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しい単4形アルカリ乾電池（6本）に交換するか、別売の専用ACアダプタ（AC0615J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- 新品の単4形アルカリ乾電池（6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ（8m）を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、広い幅のテープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、別売の専用ACアダプタ（AC0615J）を利用することをおすすめします。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。

2. ACアダプタ（別売）を接続する場合

別売の専用ACアダプタ（AC0615J）で、家庭用コンセント（AC100V）から電源を取ります。



❶ ACアダプタのプラグを本機背面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込む

※ 差し込みが不充分だと電源が入らない場合があります。

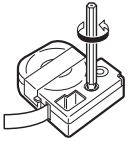
❷ ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む

準備

注意!

- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

3. テープカートリッジをセットする



❶ インクリボンの「たるみ」を取る

矢印方向に軽く巻いて、「たるみ」を取ってください。

❷ 下カバーを開ける

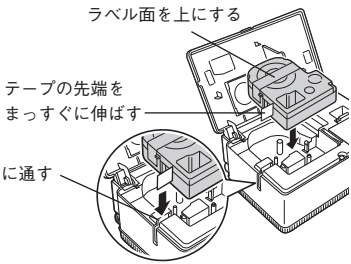
本体を裏返して、下カバーのつまみ部分を持ち上げて下カバーを開けます。

注意!

- 必ず、電源を切ってからおこなってください。
- 上カバーは閉じた状態でおこなってください。

❸ テープカートリッジをセットする

ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。



❹ 下カバーを閉じる

下カバーは指で軽く押してしっかり閉じてください。

準備

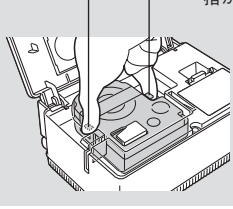
注意!

- テープカートリッジをしっかり押し込まずに下カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 下カバーはしっかり閉じてください。
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mmの5種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。参照 P.30「テープ幅と印刷できる行数」
- 本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合や正しくセットしていない場合は、「テープ確認！」や「テープ無し！」と表示されます。本機で使用可能なテープカートリッジを正しくセットしてください。

MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されています。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



4. 電源を入れる

電源を入れる前にもう一度確認してください。

- 電池は正しくセットされていますか？
- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？（別売のACアダプタで使用する場合）

❶ ○ ON/OFF（電源）を押す

すでにテキストが入力されているときは、タイトル画面のあとにテキストが表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。

参照☞P.16「ディスプレイの見かたとはたらき」

準備

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約５分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。○ ON/OFF（電源）をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

使わないときは、こまめに電源を切るとオート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープの「たるみ」を取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

❶ テープ送りを押す

「テープ送り」メニューが表示されます。

❷ ▲ ▼で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

テープ送り
↑テープ送り
送りカット
↓送り長指定

❸ 選択 改行を押す

「テープ送り」の場合は、テープが約17mm空送りされます。

「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

注意！

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンの「たるみ」が取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

使い終わったら

●電源を切る

❶ ○ ON/OFF （電源）を押す

電源が入っている状態で ○ ON/OFF （電源）を押すと、電源が切れます。電源を切っても、入力したテキストやファイルなどのデータは、電池が正しくセットされていれば保存されています。再度電源を入れると、入力したテキストが表示されます。

❷ 別売の専用ACアダプタ（AC0615J）をはずす

別売のACアダプタを接続している場合は、ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

注意!

長期間使わないときは、電池、AC アダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。
本機、電池、AC アダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
ただし、登録したファイル、入力した文章、学習内容などのデータを保存しておきたいときは、電池（別売）を正しくセットしたまま保管してください。約２分以上本機に電源が供給されないと、データはすべて失われます。
長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。

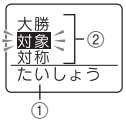
文字を入力する

●文字入力をはじめる前に

文字入力は、文字ボタンで入力し、以下の画面とボタンで操作します。

■ 変換画面の見かた

本機は、文字を入力した状態で[変換 スペース]を押すと、変換候補を選択する変換画面になります。変換画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



①変換する文字の「読み」
[変換 スペース]を押したとき、変換する文字の「読み」が表示されます。

②変換候補一覧
変換する文字の変換候補を表示します。

文字の変換中に使用するボタン

[変換 スペース] ： 変換候補の表示、および次の変換候補の選択
[▲] ： 前の変換候補の選択
[シフト]+[▲] ： 最初の変換候補の選択
[▼] ： 次の変換候補の選択
[シフト]+[▼] ： 最後の変換候補の選択
[◄] ：「読み」の長さを短くする
[►] ：「読み」の長さを長くする
[選択 改行] ： 変換候補を確定する
[削除 取消] ： テキスト画面へ戻る
文字ボタン ： 変換候補を確定し、文字を入力する

[シフト]+[　]となっている表記は、[シフト]を押しながらそのボタンを押す操作です。

●ひらがな・カタカナを入力する

文字は、あ・ア A・a で入力モードを「ひらがな→カタカナ→ABC（大文字）→ABC（小文字）」に切り換えることができます。

例 ：「いとう」、「イトウ」を入力する

❶ あ・ア A・a を数回押して入力モードを選ぶ

ひらがな入力の場合　カタカナ入力の場合

❷「いとう」、「イトウ」を入力する

入力文字：I、T、O、U

ネガ表示で入力されます。

❸ 選択 改行 を押す

「いとう」、「イトウ」が確定します。

行頭マークは1から■に変わります。

MEMO

- 文字を間違えたときは、削除 取消 で文字を消して、正しい文字を入力しなおします。
- 拗音、促音は、L を押してから通常の文字を入力する方法もあります。
  例：LTU＝っ、LU＝ぅ
- 促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねることでも入力できます。
  例：SAKKA＝さっか

●漢字に変換する

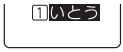
漢字は、「読み」をひらがなで入力してから変換します。

例 ：「伊藤」を入力する

❶「ひらがな入力」で「いとう」を入力する

入力文字：I、T、O、U

ネガ表示で入力されます。



❷ 変換 スペース を押す

候補が表示されます。

変換 スペース を押すたびに候補が変わります。

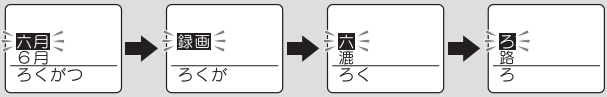
❸「伊藤」を選んで 選択 改行 を押す

「伊藤」が確定します。

入力

MEMO

- 入力した直後に[あ・ア A・a]を押すと「ひらがな→カタカナ→ABC（大文字）→ABC（小文字）」の順に変換します。
  変換後は、[選択 改行]を押して確定します。
- 変換したあと、続けて次の文字を入力すれば、前の文字が自動的に確定するため、確定する[選択 改行]ボタンを省略できます。
- 一度選択した語句は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 一度に入力できる「読み」は16文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大6文字です。また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
- 2行目を作成するときは、[選択 改行]を押して改行します。
  参照☞P.30「行を増やす（改行）」
- 「読み」の範囲が違い、目的の漢字に変換できないときは、[◄][►]で変換の対象とする文節（読み）の長さを変えます。



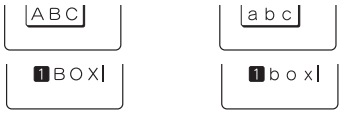
●英数字を入力する

英数字を入力するときは、入力モードを「ABC（大文字）入力」または「ABC（小文字）入力」にして、直接入力します。

例 ：「BOX」、「box」を入力する

❶ [あ・ア A・a]を押して入力モードを選ぶ

❷ 「BOX」を入力する
[B]、[O]、[X]



MEMO

[シフト]を押しながら入力すると、「ABC（大文字）入力」モードのときは小文字を、「ABC（小文字）入力」モードのときは大文字を入力できます。

入力

●文字ボタンの記号を入力する

ボタンに表記された記号は、ボタンによって入力方法が異なります。

数字ボタンの上に表記された記号

シフトを押しながら入力します。

例 ：「!」を入力する

❶ シフトを押しながら 1 を押す

「!」が入力されます。

MEMO

数字ボタンの上に表記された記号は、どの入力モードでも入力できます。

複数の記号が表記された ｱﾀﾅ ､｡ ボタン

文字めくり方式で入力します。

文字めくり方式

文字ボタンの ｱﾀﾅ 、 ､｡ で記号を入力するときの入力方法です。
1つの文字ボタンには、複数の文字が割り当てられています。文字ボタンを繰り返し押して、目的の文字を表示させます。

文字ボタン ＼ 押す回数		1回	2回	3回	4回	5回	……
ｱﾀﾅ	ひらがな入力 カタカナ入力	「	」	：	・	「	……
	ABC（大文字）入力 ABC（小文字）入力	[	]	:	'	[	……
､｡	ひらがな入力 カタカナ入力	、	。	、	。	、	……
	ABC（大文字）入力 ABC（小文字）入力	,	.	,	.	,	……

- 目的の文字を通り過ぎたときはシフトを押しながら文字ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます（リバース機能）。
- 「：」と「」」など、同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力する場合は、1文字目を入力したあとに、►または選択/改行を押してカーソルを移動します。

●スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「␣」（半角スペース）が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

❶ ネガ文字がないことを確認し、[変換 スペース]を押す

半角スペースが入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときに[変換 スペース]を押すと、漢字に変換されます。
- スペースには、半角スペース（␣）のほかに、1文字分の全角スペース（＿）があり、記号メニューで入力します。参照☞P.34「記号・絵文字を使う」

入力

文章を作る

文章を入力し、文字を挿入、削除したり、全消去するなどの編集方法を説明します。

●カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「▏」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入、削除する位置を表します。

カーソルの移動にはカーソルボタン[◄][▲][▼][►]を使います。本機のディスプレイには最大6文字×2行で表示されます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

- [◄] ：左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
- [►] ：右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
- [▲] ：前（上）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
- [▼] ：次（下）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
- [シフト]＋[◄] ：行頭へ移動します。繰り返すと、さらに前の行の行頭へと移動します。
- [シフト]＋[►] ：行末へ移動します。繰り返すと、さらに次の行の行末へと移動します。
- [シフト]＋[▲] ：段落の先頭へ移動します。繰り返すと、前の段落の先頭へと移動します。
- [シフト]＋[▼] ：段落の終わりへ移動します。繰り返すと、次の段落の終わりへと移動します。

[シフト]＋[　]となっている表記は、[シフト]を押しながらそのボタンを押す操作です。

●文章を入力する

文字は操作パネルの文字ボタンで入力し、変換 スペースを押して漢字などに変換します。

参照☞P.24「文字を入力する」

●文字を削除する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ削除 取消を押すと文字が削除されます。

●文字を挿入する

文字を挿入したいところにカーソルを合わせて入力します。

●注意!●

挿入によって文字数が入力可能文字数（約 90 文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（◀）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

●すべての文章を消去する

入力した文章をすべて消去するときは「全文消去」をおこないます。

シフトを押しながら削除 取消（＝消去）を押し、表示される画面で「実行」を選びます。

●注意!●

全文消去では、入力中の文章とフォントなどの指定内容が消去されます。消去をおこなう前に、充分に確認してください。

●MEMO●

- 全文消去では、ファイル、漢字などの学習内容、文字の入力状態は消去されません。すべてを購入時の設定に戻したいときは、初期化してください。
  参照☞P.67「本機を初期化する」
- 操作を途中でやめるときは削除 取消を押し、操作を戻します。

行を増やす（改行）

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます（選択/改行を押します）。

テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから18mmまでの幅のテープを使うことができます。
セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	3行まで	3行まで

MEMO

- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク[1] [2]…[X]、[1][2]…[X]と、実質行頭マーク**1** **2**…**X**、**1****2**…**X**の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- **X** **X**はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。**X**の表示があるときにPrintを押しても「行数オーバー」が表示されます。**X**のある行を削除してから印刷をおこなってください。
  参照☞P.73「エラーメッセージが表示されたときは－行数オーバー」

●新しい行を作る

行の終わりで[選択 改行]を押すと、新しい行に入力することができます（改行）。

例 ：3 行の文章を入力する

❶「くま組」を入力し、[選択 改行]を押す

2行目に行頭マークが表示されます。

❷「いのうえ　くるみ」を入力し、[選択 改行]を押す

3行目に行頭マークが表示されます。3行目を入力します。

●MEMO●

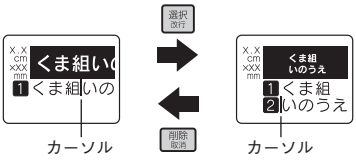
ネガ文字や仮確定文字があるときは、[選択 改行]を押しても改行できず、文字が確定します。

仮確定文字については、P.16「ディスプレイの見かたとはたらき ー ②確定文字」を参照してください。

●行の途中で改行する/改行を取り消す

行の途中で[選択 改行]を押すと、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

行頭マークにカーソルを合わせて[削除 取消]を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。



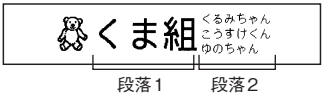
段落を増やす（改段落）

左下のラベルは2つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼びます。段落とはブロックで印刷される「行の集まり（または1行）」のことです。1つのラベルの中に2つの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えることができます。
本機では、段落は1つのラベル（文章）の中に2段落まで作ることができます。

段落が2つのラベル

印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では各段落が縦に並んだ形になります。

【ラベルは】



【画面上では】

段落1
1 くま組
段落2
1 くるみちゃん
2 こうすけくん
3 ゆのちゃん

入力

●新しい段落を作る

シフト を押しながら 選択 改段落 （＝改段落）を押すと、新しい段落ができます。

❶ 段落1を入力する
1行目「 くま組」と入力します。

❷ 文末にカーソルを合わせ、シフト を押しながら 選択 改段落 （＝改段落）を押す
新しい段落が発生し、1 が表示されます。

❸ 段落2を入力する
1行目「くるみちゃん」
2行目「こうすけくん」
3行目「ゆのちゃん」　と入力します。

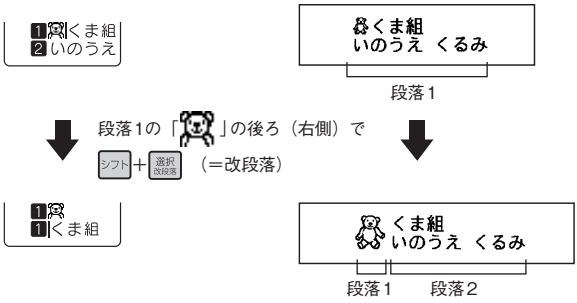
MEMO

- ネガ文字や仮確定文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
  仮確定文字については、P.16「ディスプレイの見かたとはたらき ー ②確定文字」を参照してください。
- すでに2段落目があるときは、改段落できません。

●段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ（右側）の文字は新しい段落に移ります。

例 ： 新しい段落を増やす



MEMO

- ネガ文字や仮確定文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
  仮確定文字については、P.16「ディスプレイの見かたとはたらき ー ②確定文字」を参照してください。
- すでに2段落目があるときは、改段落できません。
- 段落分割によって新しくできた段落指定値の内容は、もとの段落と同じです。
- 文字サイズが行数で指定されている場合は、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズの指定は解除され、初期設定値になります。
  参照 P.39「文字サイズを指定する」

記号・絵文字を使う

文字ボタンで入力できる文字や記号以外に、記号・絵文字メニューで色々な記号や絵文字が入力できます。

●記号・絵文字メニュー一覧

を押すと、記号を入力できます（太字は購入時の初期設定値です）。

選択できる記号は、P.86「記号一覧表」を参照してください。

メニュー		選択肢
絵文字 **絵文字** 絵文字を入力します。 参照 P.35	文房具 ▶ **雑貨** ▶ 暮らし ▶ 動物 ▶ 花・草木 ▶ 食べ物 ▶ 乗り物 ▶ 予定 ▶ シーズン ▶ 映画音楽 ▶ スポーツ ▶ 星座 ▶ 表示 ▶	絵文字選択
記号 **記号** 記号を入力します。 参照 P.35	省略 ▶ **記述** ▶ カッコ ▶ 矢印 ▶ ○△□ ▶ 単位 ▶ 数字 ▶ イラスト数字 ▶ ギリシャ ▶ 欧州 ▶ 編集 ▶	記号選択
2 桁数字 **2桁数字** 2桁の数字を1文字として入力します。 参照 P.36	▶	数値入力

●記号・絵文字を入力する

操作パネルに表記されていない記号や絵文字は、記号･絵文字メニューから指定します。

❶ [記号]を押す
「記号・絵文字」メニューが表示されます。

❷ [▲][▼]で「絵文字」を選ぶ

❸ [選択/改行]を押す
「絵文字」メニューが表示されます。

❹ [▲][▼]で「動物」を選ぶ

❺ [選択/改行]を押す
「動物」の記号が表示されます。

❻ [◄][▲][▼][►]で「🐱」を選ぶ

❼ [選択/改行]を押す
「🐱」が入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 入力できる記号は、付録を参考にしてください。
  参照 P.86「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときは、[削除/取消]または[記号]を押し、操作を戻します。
- 一度選択した記号は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下のはたらきをします。
  [罫]（罫入力記号）：縦罫線を入力します。
  「␣」（全角スペース）：全角スペースを入力します。

●たて書きで2桁の数字を入力する

たて書きで2つの数字を横に並べたい場合は「2桁数字」を使います。

例 ：「14回大運動会」を入力する

❶「編集」機能で、「たて書き」を指定する

参照☞P.47「縦・横を指定する」

❷ [記号]を押す

「記号・絵文字」メニューが表示されます。

入力

❸ [▲] [▼]で「2桁数字」を選び、[選択 改行]を押す

2桁数字の数値入力画面が表示されます。

❹「14」を入力し、[選択 改行]を押す

カーソル位置に「14」が表示されます。

❺ 続けて文章を入力する

MEMO

- 操作を途中でやめるときは[削除 取消]または[記号]を押し、操作を戻します。
- 2桁の数字は、[記号]を押して「2桁数字」を選んで入力します。文字ボタンでの入力では2桁数字にはなりません。
- ネガ文字があるときは、[記号]で2桁数字は入力できません。

読みのわからない漢字を入力する（コード入力）

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。
入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。

MEMO

本書には、JIS 第２水準の区点コード表を掲載しております。その他のコードは、市販の辞書などを参照してください。
参照 P.82「漢字変換表」

例 ：「處」を入力する

❶ 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。
處…4961（区点コード）

❷ シフトを押しながら あ・ア A・a （＝コード入力）を押す

コード入力画面になります。

❸ コードを入力する

4 9 6 1 を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。

コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

❹ 「處」を選び、選択 改行 を押す

カーソル位置に「處」が入力されます。

MEMO

- ネガ文字や仮確定文字があるときは操作できません。
  仮確定文字については、P.16「ディスプレイの見かたとはたらき － ②確定文字」を参照してください。
- 操作を途中でやめるときは、削除 取消 または シフト＋あ・ア A・a を押し、操作を戻します。
- コードの入力を間違えたときは 削除 取消 を押して入力しなおしてください。

フォントを変える

ラベルのフォントは、ベーシック→フォーマル→エレガント→アンティーク→クラシック→てがき→ポップ→ハートの順で切り換えられます。

❶目的の設定になるまで[フォント]を押す

[フォント]を押すたびに、フォントの指定を切り換えられます。

■フォント例：

ベーシック

Cuteな文字

フォーマル

Cuteな文字

エレガント

Cuteな文字

アンティーク

Cuteな文字

クラシック

CUTEな文字

てがき

Cuteな文字

ポップ

Cuteな文字

ハート

Cuteな文字

編集

MEMO

- ネガ文字があるときはフォントを変更できません。
- 漢字のフォントはすべて「ベーシック」と同じです。
- 「ベーシック」と「ハート」、「エレガント」と「クラシック」のかなフォントは同じです。
- 「クラシック」の英数小文字は大文字を一回り小さくしたデザインのフォントです。
- [フォント]は文章全体のフォントを変えます。段落ごとや文字ごとに指定することはできません。
- [フォント]ではイニシャルマークのフォントは変更できません。
  参照☞P.42「イニシャルマークを作成する」
- 英数字は文字間を狭くすると見栄えが良くなります。
  参照☞P.47「文字間を指定する」
- フォント、文字サイズ、行数、装飾、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

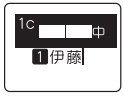
文字サイズを指定する

サイズを使うと、文字サイズを一段階ずつ切り換えられます。各行の文字サイズを選択肢の組み合わせから選択できます。

❶ 目的の設定になるまでサイズを押す

サイズを押すたびに選択肢が切り換わります。

カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。インジケーターは、✦の大きさが文字サイズを表し、左の小さい側からP、S、M、L、G字を示しています。



MEMO

- ネガ文字があるときは、「文字サイズ」を変更できません。
- サイズは、カーソルのある段落に対する指定です。
- 選択肢を切り換えたあとは、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

選択できる文字サイズは、ラベルの行数によって次のようになります。表示されるピクトグラフ（行の大小）で各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

太字は購入時の初期設定値です。

ラベルの行数	選択肢
1 行	1a 特大、 1b 大、 **1b 大**、 1c 中、 1d 小
2 行	2a 大大、 2b 中中、 **2b 中中**、 2c 大小、 2d 中小、 2e 小中、 2f 小大
3 行	3a 大大大、 3b 大大大、 **3b 大大大**

1行の文字サイズ

1a特大・1b大・1c中・1d小と選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印刷サンプル	美	美	美	美	美
文字サイズ［pt］ / テープ幅	✦ P [6]	✦ S [10]	✦ M [13]	✦ L [19]	✦ G [26]
18mm	−	小	中	大	特大
12mm	−	小	中	大	特大
9mm	小	中	大	特大	−
6mm	中、小	大	特大	−	−
4mm	特大、大、中、小	−	−	−	−

注意！

テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、指定したサイズにならないことがあります。

MEMO

- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なる場合は、実際の行の初期設定値で印刷されます。
- フォント、文字サイズ、行数、装飾、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
- 12mm幅テープと18mm幅テープで印刷される最大文字サイズは同じです（最大印刷幅は9.0mmです）。

フレームをつける

フレーム/イニシャルで、文章（段落）のまわりに表組みやフレーム（外枠）をつけられます。

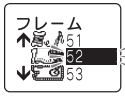
なし（購入時の初期設定値）
フレームをつけません。

フレーム（01～69）
文章（段落）のまわりにフレームをつけます。

❶ フレーム/イニシャルを押す

❷ ▲ ▼で「フレーム」を選び、選択/改行を押す

❸ ▲ ▼で目的のフレームのデザインを選び、選択/改行を押す
フレームの種類は数字ボタンでも指定できます。

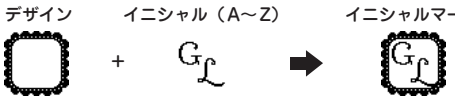


MEMO

- ネガ文字があるときはフレームを指定できません。
- フレーム/イニシャルは文章全体にフレームをつけます。段落ごとや文字ごとに指定することはできません。
- フレームのデザインはフレーム一覧を参照してください。
参照 P.89「フレーム一覧表」
- 05～08のフレームは表組みになります。文章（段落）を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。
- 処理を途中でやめるときは削除/取消または フレーム/イニシャルを押してください。
- フォント、文字サイズ、行数、装飾によっては、フレームと文字が重なることがあります。

イニシャルマークを作成する

フレーム/イニシャルで、文字と飾りを組み合わせたイニシャル用のマークを作成できます。



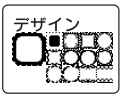
入力できるイニシャルは、A～Zのうちの2文字までです（大文字のみ）。
2文字を入力したときは、並ぶ配置（よこ/ななめ）が指定できます。

❶ イニシャルマークを入力したい場所にカーソルを合わせる

❷ フレーム/イニシャルを押す

❸ ▲ ▼で「イニシャル」を選び、選択/改行を押す

❹ ◀ ▲ ▼ ▶で目的のイニシャルマークのデザインを選び、選択/改行を押す



❺ ▲ ▼でフォントの種類を選び、選択/改行を押す
フォントは「エレガント」と「クラシック」から選べます。
その他のフォントは指定できません。

❻ イニシャルを入力する
A～Zの文字を2文字まで入力できます（大文字のみ）。

❼ 選択/改行を押す
2文字入力したときは手順❽に進みます。
1文字のみのときはイニシャルマークが作成されます（手順❾）。

編集

8 **2文字の場合は、▲ ▼で文字の配置を選び、選択/改行を押す**

イニシャルマークが作成されテキスト画面に戻ります。

MEMO

イニシャルマークのデザインによっては、「ななめ」の文字配置ができないものがあります。その場合の配置は「よこ」となります。

9 **テキスト画面を確認する**

カーソル位置に（イニシャル入力済みマーク）が表示されます。

（イニシャル入力済みマーク）はテキスト内にイニシャルマークが入力されていることを表すマークです。

MEMO

- ネガ文字があるときはイニシャルマークを作成できません。
- イニシャルマークのデザインはイニシャルマーク一覧を参照してください。
  参照 P.89「イニシャルマークデザイン一覧表」
- 処理を途中でやめるときは削除/取消または記号/シンボルを押してください。
- 1つの文章に入力できるイニシャルマークは、5個までです。
- イニシャルマークのデザインによっては、「ななめ」の文字配置ができないものがあります。その場合の配置は「よこ」となります。
- イニシャルマークは文字サイズ、行数、装飾によっては、マークがツブレることがあります。L字、G字で印刷することをおすすめします。
  参照 P.39「文字サイズを指定する」

編集の機能を使いこなす

文字間や飾り字を指定して、見栄えの良いラベルにすることができます。
ラベルの見た目を変えるには、編集を押して表示されるメニューから機能を選択します。機能によって指定可能な範囲（行単位、文章全体など）が異なります。

編集の機能

機能	内容	指定範囲
割付け	各行の割り付け位置を指定できます。	文章全体、段落単位
縦・横	たて書き / よこ書きを切り換えます。	文章全体
文字間	文字の間隔を変更します。	文章全体
余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。	文章全体
飾り字	白抜き、影文字、白抜影、斜体、強調の装飾をします。	文章全体、段落単位、行単位

指定範囲とカーソルの位置について

飾り字機能、割付け機能では、有効範囲の指定をおこないます。
次の表を参考に、カーソルの位置と有効範囲について確認してください。

指定範囲の選択肢	カーソルの位置と有効範囲	説明
文章全体	カーソル位置 1段落目 1あいうえお 2かきくけこ 有効範囲 1あいうえお 2段落目	カーソルの位置に関係なく文章全体を指定 テキスト画面上は何も変わりません。
この行	1▶あいうえお 有効範囲 2かきくけこ 1あいうえお	カーソルのある行のみ指定 指定した行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示されます。
この段落	1▶あいうえお 2▶かきくけこ 有効範囲 1あいうえお	カーソルのある段落のみ指定 指定した行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示されます。

MEMO

- 「▶（文字モード指定マーク）」は印刷されません。
- 「▶」は削除できます。「▶」を削除すると、「文章全体」で指定した内容、または初期設定値を反映します。
- 「文章全体」を指定した場合、「▶」は表示されません。

●編集メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	選択肢
割付け ▶ **割付け** 各行の文字の配置を指定します。参照☞P.46	**前揃え**　中揃え 均等割　後揃え
縦・横 ▶ **縦・横** 文字の向きを指定します。参照☞P.47	**よこ書き** たて書き
文字間 ▶ **文字間** 文字間隔を調整します。参照☞P.47	密着 **ふつう**
余白 ▶ **余白** ラベルの前後の余白を調整します。参照☞P.48	極少 **ふつう**
飾り字 ▶ **飾り字** 文字の装飾を指定します。参照☞P.48	A 白抜き　**A ふつう** A 影文字　A 白抜影 *A* 斜体　**A** 強調

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、指定の途中で[削除 取消]または[編集]を押し、操作を戻します。
- 指定内容は、各機能の選択肢を表示させて確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- フォント、文字サイズ、行数、装飾、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
- 機能を指定した場合には、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

● 編集 機能の説明

各機能のご購入時の状態（初期設定値）はP.45「編集メニュー一覧」で確認できます。

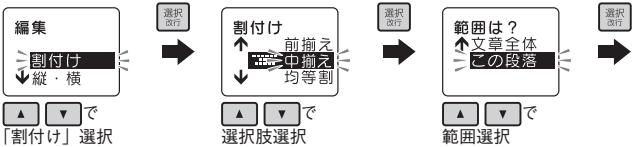
割付けを指定する

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

前揃え（購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
中揃え	各行の中心を揃えます。
均等割	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割り付けます。
後揃え	行末を揃えます。

「割付け」を指定する流れ

指定する行や段落にカーソルを合わせて 編集 を押す。



MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「均等割」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

縦・横を指定する

文章をたて書きにするか、よこ書きにするかを指定します。

よこ書き（購入時の初期設定値）

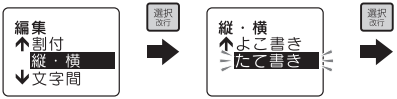
千代田区東神田**
石原 由紀

たて書き

千代田区東神田**
石原 由紀

「縦・横」を指定する流れ

編集を押す（カーソルはどこでもかまいません）。



テキスト画面では、文字の向きは変わりませんが、たて書き・よこ書きの指定は画面の印刷イメージで確認できます。

文字間を指定する

文字の間隔を選びます。

密着	ふつう（購入時の初期設定値）
口口文字間	口口文字間

「文字間」を指定する流れ

編集を押す（カーソルはどこでもかまいません）。

MEMO

- 小さい文字に「密着」を指定しても、効果がないことがあります。
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルになります。
- 英数字は文字間を狭くすると見栄えが良くなります。

余白を指定する

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少（余白：前後約1mm）　　ふつう（余白：前後約10mm）

余白　　余白

「余白」を指定する流れ

編集を押す（カーソルはどこでもかまいません）。

▲ ▼で「余白」選択　　▲ ▼で選択肢選択

MEMO

余白「極少」を指定すると、自動カットはせずに、ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットしてください。

参照 P.57「印刷する」

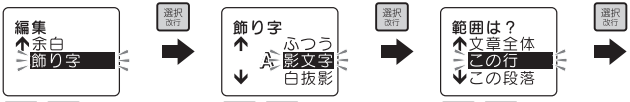
飾り字を指定する

文字の装飾を選択します。

白抜き	ふつう（購入時の初期設定値）	影文字	白抜影	斜体	強調
A	A	A	A	*A*	A

「飾り字」を指定する流れ

指定する行や段落にカーソルを合わせて編集を押す。



▲ ▼で「飾り字」選択　　▲ ▼で選択肢選択　　▲ ▼で範囲選択

MEMO

フォント、文字サイズ、行数、装飾または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

定長印刷を指定する

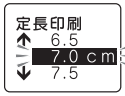
印刷するラベルの長さを数値で指定します。

❶ シフトを押しながらテープ送り（＝定長印刷）を押す

❷ ▲ ▼で印刷する長さを指定する

1.0～99cmの範囲で指定できます。

長さは数字ボタンでも指定できます。



❸ 選択/改行を押す

❹ ▲ ▼でラベル全体に対する文字の印刷位置を選び、選択/改行を押す

ラベルの長さが指定されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは定長を指定できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除/取消または テープ送り を押します。
- 定長印刷で表示される長さは、1.0～2.0cmまでは0.1cmごと、2.0～4.0cmまでは0.2cmごと、4.0～10.0cmまでは0.5cmごと、10～99cmまでは1.0cmごとに変化します。
- 指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「定長→字余り」と表示され、定長印刷できません。文字数を減らしたり、文字サイズの指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 2段落の文章で印刷位置「均等割」を指定すると、2つの段落はそれぞれラベルの両端に配置されます。

参照 P.51「フォーム見本 - りぼん」

デザインされたラベルを呼び出す（フォーム）

本機にはタグやおなまえラベルなどデザインされたフォームが登録されています。

例 ：「さとう」のラベル

●ラベルの作りかた

❶ 使用するフォームを決める

参照☞P.51「フォーム見本」

❷ [ファイル/フォーム]を押す

❸ [▲] [▼]で「フォーム」を選び、[選択/改行]を押す

❹ 使用するフォームを指定する

[▲] [▼]で目的のフォーム名を選び、[選択/改行]を押します。

●注意！●

フォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。フォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。

参照☞P.64「ファイルを登録する」

❺ 文字を入力する

フォームの場合は、テキストにデザインされたフォームが表示されます。はじめから入力されていますので、文字や記号を削除して内容を変更します。

例 ： 1
1さとう
2Sugar

●MEMO●

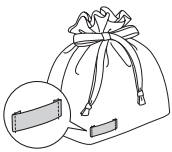
- 操作を途中でやめるときは、[削除/取消]または[ファイル/フォーム]を押し、操作を戻します。
- デザインフォームで指定されている編集機能の指定は変更できます。

❻ 印刷する

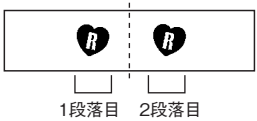
参照☞P.57「印刷する」

●フォーム見本

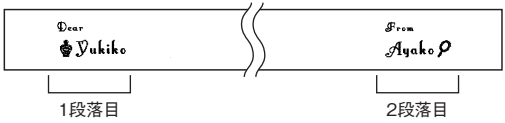
■ **タグ**.....布小物などへのタグ付けに最適です。（推奨テープ種：りぼん12mm）
余白の部分を内側に折り返し、縫い付けてください。
（点線は印刷されません。）



■ **ピスネーム**.....ピスネームに最適です。（推奨テープ種：りぼん12mm）
真ん中で二つ折りにして、縫い付けてください。
（点線は印刷されません。）



■ **りぼん**.....ギフトラッピングに最適なりぼんを作成できます。
（推奨テープ種：りぼん12mm）
りぼんをくるっと丸め、お好みのシールで止めれば簡単にラッピングを楽しめます。（ラベルの長さは20cmです。）



●注意！●

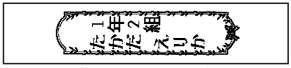
フォームの「タグ」、「ピスネーム」、「りぼん」はPテープカートリッジ りぼんを使用することをおすすめしています。その際は「自動カット」を「しない」に設定してください。

参照 P.54「自動カットの設定を変更する」

■ **おなまえ**.....名札や表札に最適です。（推奨テープ幅：9～18mm）

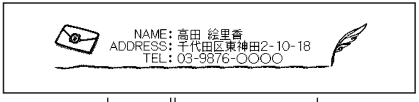
1段落目 2段落目

■ **学校持ち物**.....持ち物へのお名前付けに最適です。（推奨テープ幅：6～18mm）



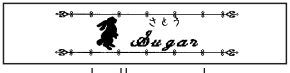
1段落のみ

■ **アドレス枠**.....住所、氏名の表示に最適です。（推奨テープ幅：12～18mm）



1段落目　　2段落目

■ **さとう**.....調味料（砂糖）のラベルに最適です。（推奨テープ幅：9～18mm）

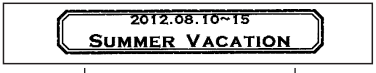


1段落目 2段落目

■ **しお**.....調味料（塩）のラベルに最適です。（推奨テープ幅：9～18mm）

1段落目 2段落目

■ **アルバム**.....アルバムや各種メディアのタイトルラベルに最適です。
（推奨テープ幅：9～18mm）

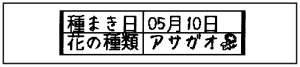


1段落のみ

■ **お誕生日** .....誕生日のお祝いラベルに最適です。（推奨テープ幅：9～18mm）

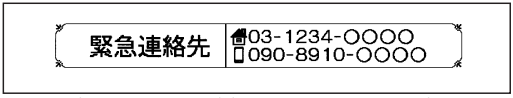
1段落のみ

■ **ガーデニング**....ガーデニングの記録ラベルに最適です。（推奨テープ幅：6～18mm）



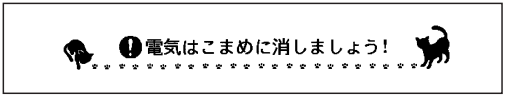
1段落目　2段落目

■ **緊急連絡先** .....緊急連絡先の表示に最適です。（推奨テープ幅：6～18mm）



1段落目　2段落目

■ **節電**.....注意表記に最適です。（推奨テープ幅：6～18mm）



1段落目　2段落目

●印刷イメージを確認する（プレビュー）

印刷前に、印刷するイメージを表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

❶ テープカートリッジをセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

❷ シフトを押しながら Print （＝プレビュー）を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- プレビュー中に あ・ア A・a 、変換 スペース 、◄ ▲ ▼ ► のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。
- プレビューを途中でやめるときは 削除 取消 または 選択 改行 を押してください。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り　強行」と表示されます。このまま 選択 改行 を押すと、定長を解除してプレビューを強行します。

注意！

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面のときだけです。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ確認！」や「テープ無し！」と表示され、プレビューは表示されません。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」と表示され、プレビューは表示されません。
  参照 P.73「こんな表示が出たときは」
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

●自動カットの設定を変更する

印刷時にラベルを自動的にカットする、しないを設定できます。カットできないテープカートリッジを使用するときや、1つのラベルに複数の文章を続けて印刷するときは「自動カット/しない」に設定してください。

注意!

本機のカッターでカットできない耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・蓄光ラベル・りぼんを使う場合は、「自動カット / しない」にして印刷してください。
「りぼん連続」では設定に関わらず、自動カットはおこなわれません。
参照 P.71「テープカートリッジを使いわける」

1 自動カットを押す

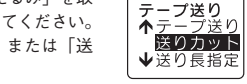
2 ▲ ▼で「する」/「しない」を選び、選択/改行を押す
自動カットが設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- ネガ文字があるときは自動カットを変更できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除/取消または自動カットを押します。
- 「自動カット/しない」で印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 「自動カット/しない」の設定でも、「テープ送り」の「送りカット」ではテープをカットできます。カット可能なテープで、そのラベルのみカットしたいときは「送りカット」をおこなってください。
  参照 P.55「テープ送り、送りカットをする」
- 自動カットの設定は全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。

●テープ送り、送りカットをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープの「たるみ」を取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。
テープ送りを押し、表示されるメニューから「テープ送り」または「送りカット」を選択します。



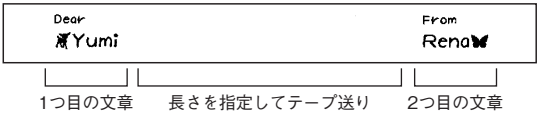
MEMO

テープ送りでは約17mmの長さを空送りします。指定の長さで送りたいときは、「送り長指定」で送ってください。
参照 P.56「指定した長さでテープ送りをする」

●指定した長さでテープ送りをする

長さを指定してテープを空送りします。ラベルに前余白が必要なときや複数文章の印刷で途中に空白を入れたいときに利用してください。

例：りぼんを使ったラッピングなどに



MEMO

- 1つのラベルに複数の文章を印刷するときは、あらかじめ「自動カット/しない」に設定してください。参照☞P.54「自動カットの設定を変更する」
- 指定した長さのラベルを印刷するときは、「定長印刷」が便利です。参照☞P.49「定長印刷を指定する」
- 指定した長さのラベルに同じ文章を繰り返し印刷するときは、「りぼん連続」が便利です。参照☞P.61「りぼん連続印刷をする」

印刷

❶ テープ送りを押す

❷ ▲ ▼で「送り長指定」を選び、選択/改行を押す

❸ ▲ ▼で送る長さを指定する

2.0～99cmの範囲で指定できます。

長さは数字ボタンでも指定できます。

❹ 選択/改行を押す

指定した長さでテープ送りします。

続けて別の文章を入力して印刷したり、「送りカット」でカットします（カット可能なテープの場合のみ）。

MEMO

- 「送り長さ」は一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
- ネガ文字があるときはテープ送りできません。
- 操作を途中でやめるときは、削除/取消またはテープ送りを押します。
- 「送り長さ」で表示される長さは、2.0～4.0cmまでは0.2cmごと、4.0～10.0cmまでは0.5cmごと、10～99cmまでは1.0cmごとに変化します。

印刷する

印刷する前に、テープカートリッジと電池を正しくセットしているか、別売の専用ACアダプタ（AC0615J）を使用する場合は正しく接続しているかを確認してください。

❶ Print を押す

「準備中」と表示されたあと、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。

印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。

MEMO

- 印刷を途中でやめるときは 削除/取消 を押してください。
- 印刷中に ○ ON/OFF （電源）を押すと印刷を中止し、テープをカットしたあとに電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと印刷枚数表示が増加します。印刷枚数の表示は「100枚」の次は「1枚」と表示されます。印刷内容（文字や書式など）を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。
- 余白「極少」を指定すると、自動カットをせずに、ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットすると、余白が「極少」のラベルができあがります。

- 特殊印刷（鏡文字印刷、連続印刷、りぼん連続）をおこなう場合は、特殊印刷 で印刷します。

参照 P.59「特殊な印刷」

- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り　強行」と表示されます。このまま 選択/改行 を押すと、定長を解除して印刷を強行します。
- 裏紙がケバ立ってカットされることがありますが、ラベルには影響ありません。
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷までの処理時間が長いことがあります。
- ネガ文字、点滅文字は印刷されません。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープ確認！」や「テープ無し！」と表示され、印刷できません。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。

参照 P.73「こんな表示が出たときは」

注意!

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・蓄光ラベル・りぼんは「自動カット/しない」で印刷してください。そのあと、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
  参照 P.54「自動カットの設定を変更する」、P.71「テープカートリッジを使いわける」
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- 印刷中に下カバーを開けると、正常に印刷できません。印刷中には下カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 16mを超える印刷はできません。

特殊な印刷

特殊印刷を押すと、鏡文字印刷、連続印刷、りぼん連続などの特殊な印刷を指定できます。

●特殊印刷メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
特殊印刷			
鏡文字印刷 ▶	印刷実行		
鏡文字印刷 鏡像反転して印刷します。 参照☞P.60			
連続印刷 ▶	1 枚 ▶	印刷実行	
連続印刷 同じラベルを連続して印刷します。 参照☞P.60	2 枚 ： 100 枚		
りぼん連続 ▶	りぼんの長さ ▶	文章の間隔 ▶	印刷実行
りぼん連続 指定したラベルの長さに同じ文章を繰り返し印刷します。 参照☞P.61	5.0 cm 5.5 cm ： 99.0 cm	1.0 cm 1.1 cm ： 99.0 cm	

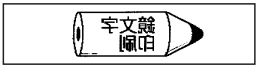
MEMO

- 連続印刷の選択肢で表示される枚数は、1～10枚までは1枚ごと、10～20枚までは2枚ごと、20～50枚までは5枚ごと、50～100枚までは10枚ごとに変化します。
- りぼん連続の「りぼんの長さ」で表示される長さは、5.0～10.0cmまでは0.5cmごと、10～99cmまでは1.0cmごとに変化します。
- りぼん連続の「文章の間隔」で表示される長さは、1.0～2.0cmまでは0.1cmごと、2.0～4.0cmまでは0.2cmごと、4.0～10.0cmまでは0.5cmごと、10～99cmまでは1.0cmごとに変化します。

●鏡文字印刷をする

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

鏡文字印刷した場合



鏡文字印刷しない場合

❶ 文章を入力し、[特殊印刷]を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

❷「鏡文字印刷」を選び、[選択 改行]を押す

鏡文字ラベルが印刷されます。

注意!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューで指定値を選択し、[選択 改行]を押すと印刷が実行されます。

MEMO

操作を途中でやめるときは、[削除 取消]または[特殊印刷]を押し、操作を戻します。

印刷

●連続印刷をする

同じラベルを何枚も印刷するときは、枚数分(Print)を押すのではなく、連続印刷機能を利用すると便利です。

例 ： 3枚の連続印刷をする

❶ 文章を入力し、[特殊印刷]を押す

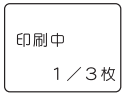
「特殊印刷」メニューが表示されます。

❷「連続印刷」を選び、[選択 改行]を押す

❸「3枚」を選び、[選択/改行]を押す

枚数は数字ボタンでも指定できます。

3枚のラベルが印刷されます。



注意!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューで指定値を選択し、[選択/改行]を押すと印刷が実行されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、[削除/取消]または[特殊印刷]を押し、操作を戻します。
- 余白「極少」のラベルは、ラベルとラベルの間はカットされず、カットマークが印刷されます。市販のハサミでカットマークをカットしてください。
- 連続印刷指定したラベルが一度に印刷できる長さ（16m）におさまらないときは、「長さオーバー」と表示され印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどして、ラベルの長さを短くしてください。

印刷

●りぼん連続印刷をする

指定したラベルの長さに、同じ文章を繰り返し印刷します。

❶ 繰り返したい文章を入力し、[特殊印刷]を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

❷ [▲][▼]で「りぼん連続」を選び、[選択/改行]を押す

❸ [▲][▼]で「りぼんの長さ」を指定する

5.0～99cmの範囲で指定できます。

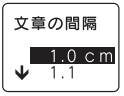
長さは数字ボタンでも指定できます。

❹ [選択/改行]を押す

❺ [▲] [▼]で「文章の間隔」を指定する

1.0～99cmの範囲で指定できます。

長さは数字ボタンでも指定できます。

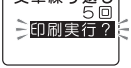


❻ [選択/改行]を押す

「準備中」が表示されたあと、印刷の確認画面が表示されます。

❼ 文章の繰り返し回数を確認し、[選択/改行]を押す

りぼんが印刷されます。



注意！

特殊印刷は「特殊印刷」メニューで指定値を選択し、[選択/改行]を押すと印刷が実行されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、[削除/取消]または[テープ送り]を押し、操作を戻します。
- 文章の繰り返し回数はりぼんの長さと文章の長さ、文章の間隔などから自動的に決まります。
- 「りぼんの長さ」で表示される長さは、5.0～10.0cmまでは0.5cmごと、10～99cmまでは1.0cmごとに変化します。
- 「文章の間隔」で表示される長さは、1.0～2.0cmまでは0.1cmごと、2.0～4.0cmまでは0.2cmごと、4.0～10.0cmまでは0.5cmごと、10～99cmまでは1.0cmごとに変化します。
- 指定するりぼんの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
- 「りぼん連続」は、りぼん以外のテープカートリッジでも印刷できます。
- 「自動カット」の設定に関わらず、「りぼん連続」では自動カットはおこなわれません。

●印刷濃度を調整する

印刷濃度は「-3〜ふつう〜＋3」の7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「ふつう」でご使用ください。

❶ シフト**を押しながら** 特殊印刷**を押す**

❷ 濃度を調整し、 選択 改行**を押す**

印刷濃度が設定されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除 改消または特殊印刷を押し、操作を戻します。
- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度に合わせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「ふつう」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 耐熱ラベル・透明つや消しラベルを使う場合や、上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベルで印字がカスレた場合は「＋3」に設定してください。
  参照☞P.71「テープカートリッジを使いわける」
- 印刷濃度は全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機の初期化をおこなってください。
  参照☞P.67「本機を初期化する」

文章を呼び出す・登録する（ファイル）

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文字とレイアウトなどラベルの状態がそのまま登録されます。

●ファイル・フォームメニュー

ファイル/フォームのメニュー一覧（太字は購入時の初期設定値です。）

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル ▶	呼出	登録した文章を呼び出します	P.66
	登録	作成した文章を保存します	P.64
	消去	登録した文章を消去します	P.66
フォーム ▶	参照 P.50		

●ファイルを登録する

❶ ファイル/フォームを押す
「ファイル・フォーム」メニューが表示されます。

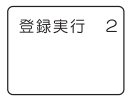
❷「ファイル」を選び、選択/改行を押す

❸「登録」を選び、選択/改行を押す

❹ ◀ ▲ ▼ ▶で登録番号を選び、選択/改行を押す
ファイル番号は数字ボタンでも選択できます。

❺ 内容を確認し、選択/改行を押す

「登録実行」と表示されます。



保存

注意!

- 「登録実行」表示中は電源を切らないでください。ファイルが壊れる場合があります。
- 登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときは、電池（別売）を正しくセットしたまま保管してください。約2分以上、本機に電源が供給されないと、データはすべて失われます。
- 電池を交換する程度の時間（約2分間）は、バックアップ用の回路によって電源が供給されますが、電池交換は速やかにおこなってください。
- 長期間保存した結果、電池が消耗してデータが失われることがあります。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除/取消または ファイル/フォーム を押し、操作を戻します。
- ファイルは5件まで登録できます。
- データがいっぱいで登録できない場合は「ファイル満員」と表示されます。不要なファイルを削除してください。

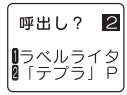
●ファイルを呼び出す

❶ ファイル フォーム を押す
「ファイル・フォーム」メニューが表示されます。

❷「ファイル」を選び、選択 改行 を押す

❸「呼出」を選び、選択 改行 を押す

❹ ◄ ▲ ▼ ► で番号を選び、選択 改行 を押す
ファイル番号は数字ボタンでも選択できます。



❺ 内容を確認し、選択 改行 を押す
◄ ▲ ▼ ► で文章を確認できます。
「呼出実行」と表示され、文章が呼び出されます。

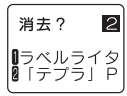
●ファイルを消去する

❶ ファイル フォーム を押す
「ファイル・フォーム」メニューが表示されます。

❷「ファイル」を選び、選択 改行 を押す

❸「消去」を選び、選択 改行 を押す

❹ ◄ ▲ ▼ ► で番号を選び、選択 改行 を押す
ファイル番号は数字ボタンでも選択できます。



❺ 内容を確認し、選択 改行 を押す
◄ ▲ ▼ ► で文章を確認できます。

❻ 選択 改行 を押す
「消去実行」と表示され、ファイルが消去されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除 取消 またはファイル フォーム を押し、操作を戻します。

保存

本機を初期化する

注意!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。
  なお、初期化や、修理、検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。
初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

内容＼機能		初期化	全文消去（P.29）
入力	テキスト画面の文章	●	●
	入力モード	●	−
データ	ファイルデータ	●	−
	学習データ	●	−
設定	自動カットの設定値	●	−
	印刷濃度の設定値	●	−

● ： ご購入時の状態に戻ります。
− ： 保持されます。

●初期化する

❶ ON/OFF を押して電源を切る

●注意!●

ON/OFF を押しても電源が切れないときには、電池と AC アダプタを抜いてください。次にもう一度電池をセット、または AC アダプタを接続し、再度 ON/OFF を押して電源を入れます。
以降は手順❶からの操作で初期化してください。

❷ 選択 改行 と 削除 取消 を押しながら ON/OFF を押す
「本体初期化？」が点滅します。

●注意!●

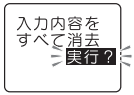
- 初期化をやめるときは 選択 改行 以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
  今まで登録したファイルなど、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

❸ 選択 改行 を押す
「初期化　実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれたあと、タイトル画面、入力モードが表示され、テキスト画面になります。

デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。

❶ シフトを押しながら削除取消（＝消去）を押し、全文消去をおこなう



注意！

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。
参照 P.29「すべての文章を消去する」

❷「demo」と入力する
参照 P.26「英数字を入力する」

❸ シフトを押しながら変換スペースを押す
デモ印刷がおこなわれます。

注意！

- 4mm幅テープではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな？」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 巻末「アフターサービスについて」

MEMO

印刷を途中でやめるときは、削除取消を押します。

見本

6mm幅テープ
（原寸大）

18mm幅テープ
（70%縮小）

テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・蓄光ラベル・りぼん	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット / しない」で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを 3mm（りぼんの場合は 10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 **参照☞ P.54「自動カットの設定を変更する」**
印刷濃度の調整が必要	耐熱ラベル・透明つや消しラベル	印刷濃度を「＋ 3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベル	印刷がカスレた場合、印刷濃度を「＋ 3」に設定して印刷する。 **参照☞P.63「印刷濃度を調整する」**
鏡文字の設定が必要	アイロン転写テープ	「特殊印刷」で「鏡文字印刷」をする。 **参照☞ P.60「鏡文字印刷をする」**

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

注意!

- テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。
  参照☞P.22「5. テープ送りをする」
- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。

MEMO

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブ（φ5mm）をご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。φ11mm熱収縮チューブは本機では使用できません。
- マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本体の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋の印刷などには不向きです。
- マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本体から取り外してください。
- 転写テープは、本機では使用できません。
- 「テプラ」PROテープカートリッジには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
  同梱のテープカタログや当社ホームページ（アドレス http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

こんな表示が出たときは

●ディスプレイが消えたときは

操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。また、約5分間何も操作をしないと電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

●エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージ	原因・対処
電池を交換！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単４形アルカリ乾電池に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合があります。電池の⊕⊖の向きを確認してください。また、できるだけ別売の専用 AC アダプタ（AC0615J）を使用してください。 **参照☞ P.18「1. 電池（別売）を入れる」** **参照☞ P.20「2. AC アダプタ（別売）を接続する場合」**
テープ無し！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 **参照☞ P.20「3. テープカートリッジをセットする」**
テープ確認！	本機で使用できないテープ幅のテープカートリッジをセットしているか、正しい位置にセットされていません。テープカートリッジを確認してください。 **参照☞ P.20「3. テープカートリッジをセットする」**
ヘッド過熱！	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷プレビューの表示ができません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、☒の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。 **参照☞ P.30「テープ幅と印刷できる行数」**
定長→字余り	定長で指定した長さに文章がおさまりません。文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。 **参照☞ P.49「定長印刷を指定する」**

エラーメッセージ	原因・対処
定長→字余り 強行？	定長で指定した長さに文章がおさまらない状態で Print や シフト + Print （＝プレビュー）を押しています。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。このまま 選択 改行 を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 **参照☞ P.49「定長印刷を指定する」**
入力文字が ありません	文字が入力されていない状態で文字サイズの指定をしようとしました。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字を入力してください。
ファイル満員	ファイルを登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイルを消去してください。 **参照☞ P.66「ファイルを消去する」**
ファイル無し	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞ P.64「ファイルを登録する」**
イニシャルマーク は5個まで！	イニシャルマークは5個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞ P.42「イニシャルマークを作成する」**
長さオーバー	指定した連続印刷の内容では、一度に印刷できるラベルの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、枚数を減らすか、文字数を減らすなどして、ラベルの長さを短くしてください。 **参照☞ P.59「特殊な印刷」**
特殊印刷不能	指定した連続印刷の内容では、一度に印刷できるラベルの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、枚数を減らすか、文字数を減らすなどして、ラベルの長さを短くしてください。
モーター 異常！	モーター動作に不具合がありました。電源を一旦切って再度入れなおしてください。同じメッセージが繰り返される場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。 **参照☞巻末「アフターサービスについて」**

エラーメッセージ	原因・対処
印刷りぼん長 →字余り	「りぼん連続」で指定した「りぼんの長さ」に文章がおさまらない状態です。 いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。
カッター 異常！	カッター動作に不具合がありました。電源を一旦切って再度入れなおしてください。同じメッセージが繰り返される場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。 **参照☞巻末「アフターサービスについて」**

MEMO

上記項目を確認しても解決しないときは、当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

故障かな？と思ったら

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、「本機の初期化」をしてください。

参照☞P.67「本機を初期化する」

ON/OFF を押してもディスプレイに何も表示されない

- **電池は正しくセットされていますか？**
  電池の向きが⊕⊖逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、すべての電池が正しくセットされているか確認してください。
  参照☞P.18「1. 電池（別売）を入れる」
- **AC アダプタはしっかりと接続されていますか？（AC アダプタで使用する場合）**
  本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。
  参照☞P.20「2. ACアダプタ（別売）を接続する場合」
- **専用 AC アダプタ以外の AC アダプタを使用していませんか？**
  別売の専用ACアダプタ（AC0615J）以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。
- **電池が消耗していませんか？**
  消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

ディスプレイが消える

- **オート・パワーオフ機能ではありませんか？**
  本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。（オート・パワーオフ）
- **操作を間違えませんでしたか？**
  本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

Print を押しても何も印刷されない

● **文章が入力されていますか？**
テキスト画面に何も入力されていないと印刷はされません。

● **ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？**
エラーメッセージが表示されていると印刷されません。
参照☞P.73「こんな表示が出たときは」
準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

● **消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？**
テープカートリッジのテープがなくなっていたり、下カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、下カバーをしっかり閉じてください。
参照☞P.20「3. テープカートリッジをセットする」

文字がきちんと印刷されない

● **テープカートリッジは正しくセットされていますか？**
テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。
参照☞P.20「3. テープカートリッジをセットする」

● **印刷ヘッドが汚れていませんか？**
印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド･クリーニングテープ（SR18C）またはヘッド･クリーニングキット（RC15）をご使用になるか､綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。
参照☞P.80「お手入れについて」

● **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しい単4形アルカリ乾電池と交換するか、別売の専用ACアダプタ（AC0615J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ラベルを印刷後、自動カットされない

● **「自動カット / しない」に設定していませんか？**
「自動カット/しない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。
参照☞P.54「自動カットの設定を変更する」

● **「りぼん連続」で印刷していませんか？**
「自動カット」の設定に関わらず、「りぼん連続」では自動カットはおこなわれません。
参照☞P.61「りぼん連続印刷をする」

● **カッターの刃が磨耗していませんか？**
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

文章の途中までしか印刷されない

● **テープカートリッジにテープの残りがありますか？**
テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。
参照☞P.20「3. テープカートリッジをセットする」

● **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しい単4形アルカリ乾電池と交換するか、別売の専用ACアダプタ（AC0615J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ファイルの内容が消えてしまった

● **本機の初期化をしましたか？**
本機の初期化をおこなうと、登録したファイルなどのデータがすべて失われます。
参照☞P.67「本機を初期化する」

● **電池がセットされていますか？**
登録したファイルや入力した文章の内容を保存しておきたいときは、電池（別売）を正しくセットしたまま保管してください。約2分以上、本機に電源が供給されないと、データはすべて失われます。
また、「電池を交換！」と表示されたら、電池が消耗しています。すぐに新しい電池と交換してください。

● **電源が入った状態で電池を交換していませんか？**
電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイルなどのデータがすべて失われることがあります。

● **動作中に AC アダプタや電池を抜きませんでしたか？**
ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」と表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイルなどのデータがすべて失われることがあります。

ラベルを貼り付けることができない

● **裏紙をはがしていますか？**
粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。
● **貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？**
表面がザラザラしている場所や、ホコリ、油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

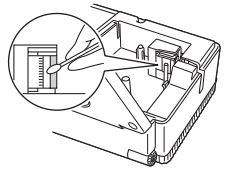
お手入れについて

■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれブキンで拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR18C）またはヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



■ ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う

ヘッド・クリーニングテープを本機にセットし、「テープ送り」をします。

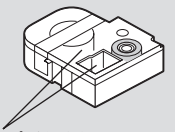
参照☞P.22「5. テープ送りをする」

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1〜2回おこなってください。

テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。

注意!

- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドをいためる原因となります。
- 使用後はもとの箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ、砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドをいためる原因になります。
- 白いテープがなくなるとテープがすべて巻き取られたことになり、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドをいためるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



付録

MEMO

- 本機にはヘッド・クリーニングテープSR18Cをお使いください。
- テープがたるんでいる場合、「巻き取りコア」を回してたるみを取ってください。
- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめに見えますが、約120回のクリーニングが可能です。

漢字変換表

本機は、JIS第1水準、JIS第2水準に対応しています。ここでは、本機に搭載しているJIS第2水準の区点コードを掲載しています。その他のコードは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞P.37「読みのわからない漢字を入力する（コード入力）」

●JIS第2水準

文字上の2桁の数字は点コードを表わします。従って「丼」の区点コードは「4807」となります。

区	区点コード																						
48	07 丼	10 乖	11 乘	14 豫	17 弍	19 亞	22 亢	28 仄	37 佚	39 佛	42 佇	44 侈	45 侏	46 侘	47 佻	50 侑	52 來	54 儘	57 俎	58 俘	66 倨	70 倭	71 俾
	77 俯	82 會	83 傚	85 傴	89 傘	90 傀	94 傲																
49	03 傳	06 僞	07 僥	08 僧	11 價	13 儉	19 儚	20 儡	27 兒	28 兌	30 兢	45 冤	53 冲	56 冽	59 凛	60 几	61 處	62 凩	64 凰	66 函	67 刋	70 刎	73 刮
	74 刹	75 利	78 剋	79 剌	82 剪	84 剩	87 剽	88 劍															
50	01 辨	06 勁	14 勳	19 匂	21 匍	22 匐	28 匿	32 卒	36 卍	43 卷	45 厖	46 厠	50 厭	54 雙	55 叟	56 曼	63 昨	67 吼	69 吶	71 吝	74 呵	75 咎	76 呟
	81 呻	82 咀	84 咄	86 咆	89 咸	91 咬	92 哄																
51	03 咤	04 咥	12 哮	13 哭	14 哺	21 啜	23 啖	25 唸	29 喀	34 啾	35 喘	37 單	38 啼	39 喃	40 喩	43 嗚	44 嗅	45 嗟	46 嗄	47 嗜	48 嗤	50 嘔	60 嘴
	61 嘶	62 嘲	65 嘸	66 噛	68 噪	80 噂	81 噌	82 噺	83 噂	89 噸	91 堕												
52	01 圏	02 國	04 圓	05 團	06 圀	07 壽	10 圻	14 址	27 埒	28 埃	31 埒	37 埋	43 壥	44 毀	47 塹	50 墟	53 壞	56 墮	62 壘	64 壜	67 壯	68 壺	69 壹
	70 壻	71 壼	72 壽	78 夥	80 夭	83 夾	85 奕	87 奎	90 奢	91 奐	93 奬	94 奩											
53	01 奸	04 佞	10 姜	16 娑	17 娜	20 娚	22 婉	24 娶	25 婢	27 婦	28 媼	30 嫋	31 嫂	33 嫣	34 嫗	40 嬌	43 嬲	45 嬪	46 嬶	48 嬢	52 孕	57 孰	59 孵
	60 學	65 宦	66 宸	68 寇	73 實	74 寢	75 寞	76 寥	79 寶	82 將	83 專	84 對	88 尨	91 屁	93 屎	94 屓							
54	02 屏	08 屹	10 岑	21 峙	23 峡	26 嶌	30 崗	34 崑	37 崚	40 嵌	53 嶮	54 嶽	62 巌	64 巫	65 已	71 帛	72 帶	73 帷	76 幀	80 幟	83 幇	91 廂	
55	02 廣	12 廳	15 廾	24 弩	28 彈	29 彌	30 彎	34 彗	35 彙	39 彷	41 徂	42 彿	43 徊	47 從	49 徘	51 徨	54 忖	57 忸	59 忝	61 忽	64 怙	68 怱	81 恆
	82 恍	83 恣	84 恃	89 恙	91 悍	92 悌																	
56	01 悄	02 悛	06 悧	07 悋	08 惡	09 悸	10 惠	12 悴	19 愕	21 惶	25 惺	32 愍	33 愾	35 愧	38 愾	40 愴	43 愧	44 愕	45 愾	47 慙	54 慟	61 慴	62 慊
	63 憚	64 憊	65 憑	66 憫	67 憮	69 懊	70 應	71 懷	73 懃	77 羅	80 懣	82 懺	88 戀	92 戊									

付録

区	区点コード																					
57	03 截	04 戮	05 戰	06 戯	08 扁	14 扱	15 扼	17 抉	19 抒	22 抜	25 拗	29 拿	33 拜	34 拌	36 拂	37 拇	38 抛	39 拉	40 挌	41 拮	42 拱	47 挧	48 捐
	49 挟	51 捜	52 挺	60 掉	61 掟	64 捩	68 揆	70 揉	72 挪	73 揄	74 揺	78 掬	80 摑	83 摶	85 摯	88 攪	91 撥	94 撼					
58	03 擅	05 撻	19 擲	21 攀	27 攣	28 攫	32 收	38 敍	42 敲	43 數	48 斟	53 旁	57 旛	62 杲	66 杳	67 昵	69 昴	71 晏	74 晁	76 晝	79 晨	80 晟	82 晰
	84 暈	85 暎	86 暉	92 曉																			
59	03 曖	09 曰	10 曳	11 曷	15 朦	16 朧	20 朶	21 杁	25 杞	30 柾	32 杰	38 枡	40 枷	45 柩	56 檜	57 栞	58 框	64 梳	69 桿	70 梟	71 桔	73 梔	74 條
	76 梃	80 梵	81 梧	89 棘	94 棍																		
60	03 棕	05 椒	07 棗	10 棹	11 棠	20 楷	23 楫	24 楔	31 椰	32 楡	38 榮	39 槐	40 榿	45 槃	49 槃	52 榑	56 榴	59 樂	61 樅	66 樒	71 樗	75 様	76 樓	82 橇
	84 橙	92 橄	93 檢																				
61	01 檗	02 蘗	03 檻	04 櫃	05 櫂	06 檸	08 檬	11 櫟	13 櫑	15 櫻	16 欅	21 盞	25 盜	39 歿	51 殱	54 殷	59 毫	60 毬	61 毫	63 毯	64 麾	65 毳	70 氣
	79 沛	84 沐	85 泄	87 泓	88 沽	89 泗																	
62	05 泪	06 洟	07 衍	11 洸	13 洵	15 洒	17 浣	20 浚	23 涎	24 涕	25 濤	26 涅	28 浬	33 涸	34 浦	36 淞	38 淨	41 淺	48 湮	53 渾	55 渌	56 渫	64 湍
	66 游	70 滉	74 溯	75 滄	77 滔	84 漑	85 灌	87 滬	89 漿	90 滲	91 漱	92 滞	93 漲	94 滌									
63	07 澑	23 澤	24 澹	26 滸	28 濕	32 濱	34 濛	38 瀑	41 濾	44 瀦	45 濺	47 瀞	49 瀟	53 炙	54 炒	55 炯	57 炬	58 炸	61 烟	64 烙	65 焉	66 烽	68 焙
	69 煥	70 煕	74 煌	76 煬	78 熕	81 熨	83 爛	85 燒	86 燗	89 燎	92 燵	93 燹	94 燼										
64	02 燿	05 爛	07 爭	08 爬	10 爲	20 犂	30 狆	34 狢	36 狡	37 狹	42 猜	45 猴	47 猩	48 猥	49 猾	51 獏	52 默	54 獪	55 獨	56 獰	57 獣	60 玀	61 珈
	63 珎	65 珀	71 琅	72 琥	74 琲	76 琅	79 瑙	84 瑛	85 瑪	86 瑶	90 璧												
65	01 瓠	11 甄	16 甍	17 甕	20 甦	35 畸	36 當	38 疇	40 畳	47 疣	51 疵	52 疽	53 疸	54 疼	55 疾	58 痒	59 痙	60 痣	66 痰	67 痺	71 瘍	76 瘡	77 瘢
	78 瘤	82 瘸	90 癪	91 癰																			
66	01 癲	03 癸	11 皓	14 皰	18 皺	19 盂	24 盡	25 盥	30 眈	33 眩	35 眞	39 眷	40 眸	43 睨	44 睫	45 睛	48 睾	52 瞑	53 瞳	54 瞞	55 瞰	59 瞼	63 矍
	66 矜	68 矮	70 砌	71 砒	76 砕	81 碌	88 磋	89 磔	93 磊														
67	01 磧	06 礒	09 礬	10 礫	11 祀	12 祠	14 祟	16 祕	17 祓	19 祿	20 禊	23 齋	24 禪	25 禮	38 禧	39 稠	40 稟	43 稻	47 穂	50 穢	53 穣	55 穿	62 竈
	65 竅	66 竄	84 笏	88 筥	89 筺	90 笞	94 簣																

区	区点コード																						
68	03	05	06	07	10	14	15	18	21	22	23	27	31	32	33	34	36	38	39	44	49	55	59
	筍	筌	笊	筵	筧	笠	箚	箴	箋	箒	箏	篁	篆	篝	篩	簔	篭	籠	簀	簗	簔	籃	籘
	62	75	78	79	80	81	86	93	94														
	籤	粳	粮	粋	粽	糀	糜	糺	紆														
69	11	15	16	19	20	21	24	26	28	33	37	40	43	44	48	49	51	52	55	63	65	71	72
	絆	絲	絨	絣	經	綉	絽	綺	綣	總	綸	緘	緞	緻	縊	縣	縒	縦	縋	縷	縺	繚	繹
	82	85	86	90	92																		
	繝	纒	纈	纎	纜																		
70	05	11	17	19	20	23	25	29	30	38	39	42	44	45	46	56	59	60	61	65	66	69	70
	罐	罠	羆	羈	羇	羞	羚	羹	羹	翔	翡	翳	翻	耆	耄	聊	聘	聚	聟	聲	聰	聽	聿
	72	74	76	80	84	85	89	90	91	94													
	肆	肛	肚	胛	胄	胚	胱	脛	脩	腋													
71	01	03	05	07	15	17	20	25	26	29	30	33	34	37	42	44	47	48	50	51	53	54	56
	隋	脾	腑	腱	膀	膠	膣	膵	膾	臂	臍	臓	臈	臺	與	舁	與	舎	舐	舩	舫	舳	
	59	67	69	74	77	85	87	90	93														
	艘	艫	艱	芒	芻	苺	范	苞	茉														
72	02	06	07	11	12	17	23	24	29	33	53	63	80	81	84	90							
	茴	荀	茹	茫	茗	荅	荘	茶	莉	菫	萼	萬	蒡	蔡	蔗	蓼							
73	01	02	03	08	10	11	12	14	15	18	20	22	26	27	30	34	35	42	43	45	46	53	54
	蓉	藥	蓙	蓋	蔑	蕭	薈	薮	薇	薗	藉	藏	藝	藥	蘊	蘭	蘆	虔	號	虱	蚓	蚯	蛄
	55	57	58	65	66	68	70	71	74	76	78	80	81	82	83	85	87	89	91	93	94		
	蛆	蛉	蠣	蛛	蛯	蜆	蜀	蜃	蜉	蝋	蝪	蝙	蝿	蜻	蜥	蜩	蝠	蝸	蝪	蝗	蝙		
74	02	04	05	07	09	11	15	17	19	20	21	24	27	33	42	44	48	54	59	64	65	66	67
	蝣	蠅	螢	螂	螯	蟐	蠑	蟇	蠖	蟯	蟲	蠍	蟷	蠢	衒	衛	衾	袂	袢	袱	裄	裔	
	70	77	78	83	84	88	94																
	裝	褄	褌	褙	褪	褻	襞																
75	01	07	25	30	34	35	36	38	39	42	44	46	47	48	54	56	57	59	61	62	63	64	66
	橘	欅	蒋	訃	訛	訝	訥	詁	詛	詈	詭	詢	誄	誂	誦	誣	諄	諂	諫	諸	諧	謌	謔
	69	71	78	79	80	83	85	88	90	93													
	諷	諛	諤	謗	謳	謫	謨	譏	證	譚													
76	02	05	06	08	09	10	17	18	27	34	37	40	42	45	46	48	51	52	59	61	62	66	68
	譬	譽	讀	讌	讒	讓	豈	豌	貉	貘	貪	貳	貶	賤	賣	賽	贄	贅	贓	贔	贖	赳	趙
	69	71	76	77	78	90	91																
	跂	趺	跛	跋	跪	蹂	踵																
77	02	06	09	13	15	16	20	21	22	24	28	31	34	49	50	52	53	59	60	64	66	68	69
	蹉	蹙	踪	蹲	躁	躇	躋	躓	躑	躙	躰	軀	軋	輔	輌	輳	輻	轉	轆	轣	轤	辟	辣
	76	78	80	84	85	86	87																
	迪	邇	逅	逕	逡	遒	逞																
78	16	17	18	20	21	22	23	24	25	33	36	41	44	45	46	48	54	56	57	71	72	73	76
	邂	邊	邁	邊	邉	邏	邨	邯	邱	郢	酊	酘	酣	酔	酥	醫	醸	釉	釋	鈑	鉞	鉗	鉤
	77	78	79	80	85	87	94																
	鉈	鋓	鋤	鋪	銛	鋏	鋼																
79	02	10	11	15	17	20	24	36	41	43	44	47	51	56	57	65	69	72	79	83	91	92	
	錢	鍼	鍮	鎭	鎰	鏨	鏝	鐵	鑄	鑚	鑢	鑵	鑽	鑿	閂	閏	閭	闊	闖	闢	陋	陷	

付録

区	区点コード
80	07 08 10 15 21 24 25 27 36 39 40 43 46 48 53 54 55 62 79 83 84 87 88 隘 隕 險 隴 雉 雜 霍 雹 霎 霰 靄 靂 靨 靜 勒 靱 靹 鞆 竟 頌 頸 頷 頽 89 93 94 顆 顯 顰
81	04 05 06 08 11 13 14 18 20 22 27 28 29 33 37 38 39 44 45 49 57 58 59 颪 颯 颱 飄 飩 餃 餉 餡 餞 餅 饂 饉 饅 饒 馼 馥 馭 駝 駘 駱 騙 騫 騒
	62 63 64 65 68 70 71 78 79 80 81 83 87 89 91 92 94 騫 驃 驟 驕 驗 驢 驥 骼 髀 髏 髑 體 髣 髯 髪 髹 髷
82	03 04 06 10 16 17 18 19 20 21 25 26 29 31 35 45 47 48 52 53 54 55 56 鬘 鬚 鬢 鬨 魄 魅 魏 魍 魎 魑 鮃 鮑 鮟 鮨 鯵 鯱 鯲 鯰 鯡 鰈 鰆 鰉
	57 59 62 64 65 69 71 72 73 77 84 88 89 鰊 鰹 鰯 鱒 鱗 鱚 鱧 鱶 鱸 鳰 鳶 鴕 鴪
83	02 06 08 11 12 17 20 21 32 34 42 45 47 51 53 64 72 76 77 78 82 86 鵞 鵙 鵜 鵡 鵺 鶏 鶚 鶫 鷆 鷁 鷓 鷙 麒 麝 麹 麾 黎 黴 鼈 鼬 齏 齊 齟 齬
84	01 02 03 堯 槇 遙

●その他

文字上の数字はコードの下2桁を表します。

	コード
85	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 鷗 葛 祇 麹 鯖 錆 繍 騨 琢 啄 樽 塚 掴 塡 澱 醱 崎 棄 濱 髙 吉 楠 昇 24 25 26 27 28 29 栁 榊 彌 捗 醤 麺

記号一覧表

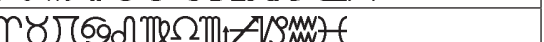
注意!

- 記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。
- サイズによって、デザインが異なる場合があります。

■ 絵文字

分　類	記　号
文房具	
雑　貨	
暮らし	
動　物	
花・草木	
食べ物	
乗り物	
予　定	

付録

シーズン	
映画音楽	
スポーツ	
星　座	
表　示	

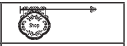
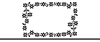
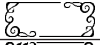
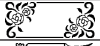
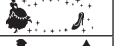
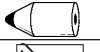
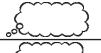
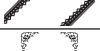
■ 記号

分　類	記　号
省　略	＃№＆〒㉾㊙㊞㊢㊟㊮㊫㊐㊚㊗㊡TELFAX♀♂
記　述	、。，．・：；？！ー－／＼～@ ~ ＿§†‡ヽヾゝゞ〃仝々〆……※＊＋－×÷＝＜＞≦≧
カッコ	‘’ “” （） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》 「」 『』 【】
矢　印	→←↑↓↘↖↗↙⇨⇦⇧⇩↔↕☞☜☝☟
○△□	○●◎△▲▽▼◇◆□■☆★◇◆♤♠♡♥♧♣
単　位	％㎜㎝ｍ㎞㎠㎡㎢㎝㎥㎥㎎ｇ㎏㏄㎖ℓ￥＄€@°′″℃

数　字	＋－×÷＝＜＞≦≧①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ １ ２ ３ ４ ５ ６ ７ ８ ９ ０ ¹ ² ³ ⁴ ⁵ ⁶ ⁷ ⁸ ⁹ ⁰ ＋ −½ ⅓⅔¼¾
イラスト数字	❶❷❸❹❺❻❼❽❾❿➊➋➌➍➎➏➐➑➒
ギリシャ	Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ξ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω
欧　州	ä ë ï ö ü Ä Ë Ï Ö Ü á é í ó ú Á É Í Ó Ú à è ì ò ù À È Ì Ò Ù â ê î ô û Â Ê Î Ô Û ñ Ñ ß Ç ç Œ œ ¿ ¡
編　集	㊫

付録

フレーム一覧表

1		19		37		55	
2		20		38		56	
3		21		39		57	
4		22		40		58	
5		23		41		59	
6		24		42		60	
7		25		43		61	
8		26		44		62	
9		27		45		63	
10		28		46		64	
11		29		47		65	
12		30		48		66	
13		31		49		67	
14		32		50		68	
15		33		51		69	
16		34		52			
17		35		53			
18		36		54			

イニシャルマークデザイン一覧表

1		4		7		10		13	
2		5		8		11		14	
3		6		9		12		15	

ローマ字変換表

あ	あ A	い I YI	う U WU	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA	い YI I	ゆ YU	いぇ YE	よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA	ゐ WI	う WU U	ゑ WE	を WO
ん	ん N＋(Y以外の子音) (例) N＋N→ん　N＋P→んP				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きぃ KYI	きゅ KYU	きぇ KYE	きょ KYO
しゃ	しゃ SYA SHA	しぃ SYI	しゅ SYU SHU	しぇ SYE SHE	しょ SYO SHO
ちゃ	ちゃ TYA CHA CYA	ちぃ TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちぇ TYE CHE CYE	ちょ TYO CHO CYO
てゃ	てゃ THA	てぃ THI	てゅ THU	てぇ THE	てょ THO
にゃ	にゃ NYA	にぃ NYI	にゅ NYU	にぇ NYE	にょ NYO

ひゃ	ひゃ HYA	ひぃ HYI	ひゅ HYU	ひぇ HYE	ひょ HYO
みゃ	みゃ MYA	みぃ MYI	みゅ MYU	みぇ MYE	みょ MYO
りゃ	りゃ RYA	りぃ RYI	りゅ RYU	りぇ RYE	りょ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎぃ GYI	ぎゅ GYU	ぎぇ GYE	ぎょ GYO
じゃ	じゃ ZYA JA JYA	じぃ ZYI JYI	じゅ ZYU JU JYU	じぇ ZYE JE JYE	じょ ZYO JO JYO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢぃ DYI	ぢゅ DYU	ぢぇ DYE	ぢょ DYO
びゃ	びゃ BYA	びぃ BYI	びゅ BYU	びぇ BYE	びょ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴぃ PYI	ぴゅ PYU	ぴぇ PYE	ぴょ PYO
つぁ	つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
でゃ	でゃ DHA	でぃ DHI	でゅ DHU	でぇ DHE	でょ DHO
ふぁ	ふぁ FA	ふぃ FI FYI		ふぇ FE FYE	ふぉ FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふぃ FYI FI	ふゅ FYU	ふぇ FYE FE	ふょ FYO
ゔぁ	ゔぁ VA	ゔぃ VI	ゔ VU	ゔぇ VE	ゔぉ VO
ぁ	ぁ LA	ぃ LI LYI	ぅ LU	ぇ LE	ぉ LO
か	か LKA			け LKE	
っ	っ LTU 同一の子音＋子音＝っ＋子音 (N以外有効)				
ゃ	ゃ LYA		ゅ LYU		ょ LYO
わ	わ LWA				

付録

おもな仕様

■ 入力

入力装置	JIS 配列キーボード式（59 鍵） 文字ボタン 39、機能ボタン 20
入力状態	ローマ字入力 記号入力、コード変換入力（区点コード・JIS コード・シフト JIS コード）
漢字変換方式	学習機能付き最長一致熟語／単漢字変換方式 熟語変換辞書 約 63,000 語（熟語学習容量 約 20 語） 単漢字変換辞書 約 10,000 語（単漢字学習容量 約 30 語）

■ 表示

表示装置	ドットマトリクス STN 液晶パネル
文字表示	102dot × 64dot（6chr × 4line）
インジケーター	10 個

■ 記憶

文章メモリー	約 90 文字
内蔵ファイル	約 90 文字 / 最大 5 ファイル

■ フォント

内蔵文字数	全 4,974 文字 漢字 JIS 第 1 水準 2,965 文字 漢字 JIS 第 2 水準 1,121 文字 漢字 その他 29 文字 ひらがな・カタカナ 英数字・記号・その他
内蔵フォント	ビットマップフォント　8 種類 （ベーシック、フォーマル、エレガント、アンティーク、クラシック、てがき、ポップ、ハート） ※ 漢字のフォントはすべて「ベーシック」と同じです。 ※「ベーシック」と「ハート」、「エレガント」と「クラシック」のかなフォントは同じです。

■ 印刷

印刷方式	熱転写 PRO 印刷方式
印刷濃度	-3 ～ふつう～ +3（7 段階）
ヘッド構成	薄膜サーマルヘッド・64dot、180dpi（最大印刷幅 9.0mm）
テープ幅検出	P テープ規格検出孔対応
テープカートリッジ	P テープ規格ワンタイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、耐摩擦 PRO 印刷式、4・6・9・12・18mm 幅
カッター	オートカッター

■ 印刷機能

文字構成　5 段階

P 字	16 × 16dot	（ 6 ポイント相当）
S 字	24 × 24dot	（10 ポイント相当）
M 字	32 × 32dot	（13 ポイント相当）
L 字	48 × 48dot	（19 ポイント相当）
G 字	64 × 64dot	（26 ポイント相当）

※ テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。

デザインフォーム　13 種（テンプレート式）

特殊印刷　鏡文字印刷、連続印刷、りぼん連続印刷

■ 電源、その他

電源　単 4 形アルカリ乾電池× 6 本（別売）
AC アダプタ（別売の専用 AC アダプタ AC0615J を使用のこと）

電源スイッチ　ボタン式

パワーオフ　操作終了後、約 5 分で電源を自動的にオフする

寸法　約 154W × 108D × 62.5H（mm）

重量　約 530g（電池、テープカートリッジを除く）

同梱品　取扱説明書
保証書
装飾用リボン

別売品　PRO テープカートリッジ
AC アダプタ（AC0615J）
ヘッド・クリーニングキット（RC15）
ヘッド・クリーニングテープ（SR18C）
トリマー（RT36W）
ハーフカッター（RH24）
りぼんキット（SRR10）
ラベルラミネーター（RL18）
システムバッグ（SR8B）
システムケース（SR9H）
テープカートリッジケース（SR4TH）

■ 使用条件

温度環境	動作時	10℃ ～ 35℃
	保存時	-10℃ ～ 55℃
湿度環境	動作時	30% ～ 80%（非結露）
	保存時	5% ～ 80%（非結露）

索引

記号

␣（全角スペース）---------- 28、35
␣（半角スペース）---------- 28
☒ ☒（印刷不可行頭マーク）-- 16、30
◄ ▲ ▼ ►（カーソルボタン）
---------- 15、28
1 2（空白行頭マーク）---- 16、30
1 2（実質行頭マーク）---- 16、30
罫（罫入力記号）---------- 35
ON/OFF（電源）---------- 14
（イニシャル入力済みマーク）
---------- 43
（記号・絵文字）---- 15、34、35
✦（文字サイズインジケーター）
---------- 17、39、40
◀（フルメモリーマーク）---------- 17
▶（文字モード指定マーク）
---------- 16、44

英数字

2桁数字（記号）---------- 36
ABC（大文字）入力------ 15、17、26
ABC（小文字）入力------ 15、17、26
ACアダプタ ---------- 11、20
ACアダプタ差込み口---------- 13、20
JISコード ---------- 37

あ

（入力切換）---------- 15
アイロン転写テープ ---------- 71
アイロンラベル ---------- 71
後揃え（割付け）---------- 45、46
アドレス枠（フォーム）---------- 52
アルバム（フォーム）---------- 52
アルファベット大文字-------- 15、26
アルファベット小文字-------- 15、26
アンティーク（フォント）---------- 38
イニシャル入力済みマーク（）
---------- 43
イニシャルマーク ---------- 42
イニシャルマークデザイン一覧表
---------- 89
Print（印刷）---------- 14、54、57
印刷---------- 14、57
印刷イメージ ---------- 17、54
印刷情報 ---------- 17
印刷濃度 ---------- 15、63
印刷不可行頭マーク（☒ ☒）
---------- 16、30
インジケーター ---------- 17
上カバー---------- 13
英数字---------- 26
絵文字---------- 34、35
エラーメッセージ ---------- 73
エレガント（フォント）---------- 38
オートカッター---------- 3、71
オート・パワーオフ ---------- 22
送りカット（テープ送り）---------- 22
送り長指定 ---------- 56
お誕生日（フォーム）---------- 53
おなまえ（フォーム）---------- 52

か

カーソル---------- 16、28
　～の位置（編集機能）---------- 44
カーソルジャンプ ---------- 15
カーソルボタン（◄ ▲ ▼ ►）
---------- 15、28
ガーデニング（フォーム）---------- 53
改行---------- 15、30
　～を取り消す---------- 31
改段落---------- 15、32
鏡文字---------- 59、60
鏡文字印刷 ---------- 59、60
確定文字 ---------- 16
各部の名前 ---------- 13
影文字（飾り字）---------- 45、48
飾り字（編集）---------- 45、48
カタカナ---------- 15、25
カタカナ入力 ---------- 15、17、25
学校持ち物（フォーム）---------- 52
カッター---------- 3、71

カット----54
カットマーク----48、57
仮確定文字----16
漢字
～に変換----25
漢字変換----15
漢字変換表----82
記号----27、34、35
～一覧表----86
[記号・絵文字]（記号・絵文字）----15、34
記号・絵文字----34
～メニュー一覧----34
～を入力する----35
機能の説明（編集）----46
行----30
鏡像----60
強調（飾り字）----45、48
行頭マーク----16、30
極少（余白）----45、48
緊急連絡先（フォーム）----53
均等割（割付け）----45、46
空白----28
空白行頭マーク（1 2）----16、30
区点コード----37、82
クラシック（フォント）----38
クリーニングテープ----80
グレー文字ラベル----71
罫入力記号（罫）----35
候補（変換画面）----24
コード入力----15、37
固定フック----13

さ

[サイズ]（文字サイズ）----14、39
[削除 Del]----15
削除----29
さとう（フォーム）----52
しお（フォーム）----52
システムケース----12
システムバッグ----12
下カバー----13、18、20
実質行頭マーク（1 2）----16、30
指定範囲（編集機能）----44
[自動カット]----14
自動カット----54
～しない----54
[シフト]----15
シフトJISコード----37
斜体（飾り字）----45、48
仕様----91
消去----15、29
消去（ファイル）----66
上質紙ラベル----71
初期化----67、68
白抜き（飾り字）----45、48
白抜影（飾り字）----45、48
スペース----15、28
節電（フォーム）----53
全角スペース（␣）----28、35
[選択 Shift]----15
全文消去（消去）----29
操作パネル----14
促音----25
外枠（フレーム）----41

た

耐熱ラベル----71
タグ（フォーム）----51
たて書き----36、45、47
縦・横（編集）----45、47
段落----32
～を分割する----33
蓄光ラベル----71
ディスプレイ----13、16
定長印刷----49
[テープ送り]----14
テープ送り----22、55、56
テープカートリッジ----20、71
～をセットする----20
～を使いわける----71
テープカートリッジケース----12
テープカートリッジセット部----13
テープ確認窓----13
テープ通路----13
テープ出口----13
テープ幅----30、40
てがき（フォント）----38
デザインフォーム----50
デモ印刷----69

付録

電源
〜を入れる ---------- 22
〜を切る ---------- 23
電池 ---------- 18
電池カバー ---------- 13、18
電池ケース ---------- 13、18
点滅文字 ---------- 16
同梱品 ---------- 10
透明つや消しラベル ---------- 71
登録（ファイル） ---------- 64
特殊印刷 ---------- 15
特殊印刷 ---------- 59
〜メニュー一覧 ---------- 59
トリマー ---------- 11

な

中揃え（割付け） ---------- 45、46
英/アルファ（入力切換） ---------- 15
入力モード ---------- 15、25、26
ネガ文字 ---------- 16

は

ハート（フォント） ---------- 38
ハーフカッター ---------- 11
半角スペース（␣） ---------- 28
ピスネーム（フォーム） ---------- 51
表組み（フレーム） ---------- 41
ひらがな ---------- 15、25
ひらがな入力 ---------- 15、17、25
ファイル/フォーム ---------- 15、64
ファイル ---------- 64
〜を消去する ---------- 66
〜を登録する ---------- 64
〜を呼び出す ---------- 66
ファイル・フォーム
〜メニュー一覧 ---------- 64
フォーマル（フォント） ---------- 38
フォーム ---------- 50
〜見本 ---------- 51
フォント ---------- 14、38
フォント ---------- 38
ふつう（飾り字） ---------- 45、48
ふつう（文字間） ---------- 45、47
ふつう（余白） ---------- 45、48
フルメモリーマーク（◀） ---------- 17
フレーム/イニシャル（フレーム・イニシャル）
---------- 14、41
フレーム ---------- 41
Print（印刷） ---------- 14、54、57
プレビュー ---------- 54
文章
〜を消去する ---------- 29
〜を入力する ---------- 29
ベーシック（フォント） ---------- 38
ヘッド・クリーニングキット
---------- 11、80
ヘッド・クリーニングテープ
---------- 11、80
別売品 ---------- 11
変換スペース ---------- 15
変換 ---------- 25
変換画面 ---------- 24
変換候補一覧（変換画面） ---------- 24
編集 ---------- 14、44
編集 ---------- 44
〜メニュー一覧 ---------- 45
ポップ（フォント） ---------- 38

ま

前揃え（割付け） ---------- 45、46
マグネットテープ ---------- 71
密着（文字間） ---------- 45、47
メニュー一覧
記号・絵文字 ---------- 34
特殊印刷 ---------- 59
ファイル・フォーム ---------- 64
編集 ---------- 45
文字
〜を削除する ---------- 29
〜を挿入する ---------- 29
〜を入力する ---------- 24、29
文字間（編集） ---------- 45、47
文字サイズ ---------- 39
〜を指定する ---------- 39
〜インジケーター（✦）
---------- 17、39、40
文字入力 ---------- 24
文字ボタン ---------- 15
文字めくり ---------- 27
文字モード指定マーク（▶） --- 16、44

や

有効範囲 ---------- 44
拗音 ---------- 25
よこ書き ---------- 45、47
余白（編集） ---------- 45、48
呼出（ファイル） ---------- 66
読み ---------- 24、25、26
読み短縮 ---------- 26

ら

ラベルラミネーター ---------- 12
りぼん ---------- 71
りぼん（フォーム） ---------- 51
りぼんキット ---------- 11
りぼん連続 ---------- 59、61
連続印刷 ---------- 59、60
ローマ字入力 ---------- 91
ローマ字変換表 ---------- 90

わ

割付け（編集） ---------- 45、46

●アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）　　ナットクのパートナー

お客様相談室　0120-79-8107

FAXからの場合　0120-79-8102
携帯電話からの場合　0570-06-4759
※通話料お客様負担
受付時間：平日（月曜日～金曜日）　午前9時～午後5時30分

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。
ホームページアドレス　http://www.kingjim.co.jp/

「テプラ」PRO SR-GL1 取扱説明書
2012 年 11 月　第 1 版

株式会社キングジム

〒 101-0031　東京都千代田区東神田 2 丁目 10 番 18 号

SR-GL1
取扱説明書

SR-GL1 取扱説明書

KING JIM

KING JIM

・お問い合わせ

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107

受付時間：平日（月曜日～金曜日）午前9時～午後5時30分

ホームページアドレス http://www.kingjim.co.jp/

©2012 Printed in China 28-①